

生涯学習に関するアンケート中間報告

1 生涯学習に関するアンケート調査の概要

(1) 調査目的

第2次香芝市生涯学習推進基本計画策定に向けて、香芝市民における生涯学習の取り組み実態及び意向を把握することを目的として、一般市民へのアンケート調査、および生涯学習団体に参加して活動している市民へのアンケート調査を実施した。

また、香芝市内に立地する事業所における、従業員の生涯学習活動に対する支援の実態や今後の取り組み意向を把握することを目的として、香芝市内事業所へのアンケート調査を実施した。

(2) 調査方法

以下の通り、調査対象を抽出し、郵送法により調査を実施した。

	調査対象
一般市民アンケート調査	住民基本台帳より無作為に抽出した、16 歳以上の市民 1,400 名
生涯学習団体アンケート調査	市内の公共施設等で活動されている生涯学習団体の活動参加者 500 名
事業所アンケート調査	香芝市内に本社がある、従業員 10 名以上の事業所 100 社

(3) 調査時期

平成 26 年 8 月

(4) 回収状況

それぞれのアンケート調査の回収状況は次の通りだった。

<回収結果>

	配布数	回収数（回収率）
一般市民アンケート調査	1,400	598（42.7%）
生涯学習団体アンケート調査	500	353（70.6%）
事業所アンケート調査	100	55（55.0%）

1 一般市民アンケート調査の結果

(1) アンケート対象者の特性

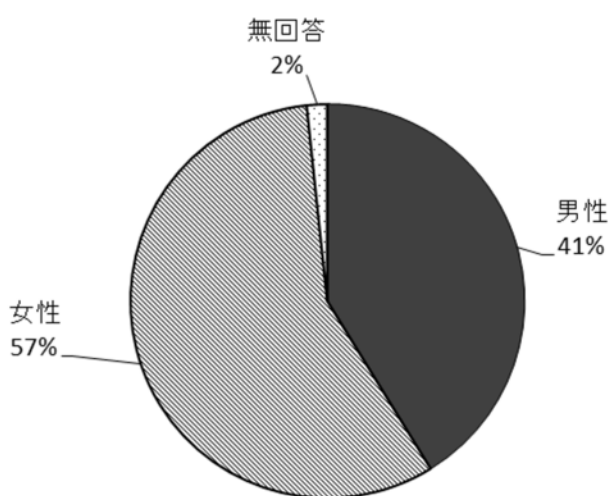
アンケート回答者の性別、年代、居住小学校区は次の通りだった。

1) 性別

回答者の性別は、男性 41%、女性 57%で女性がやや多かった。

問1 あなたの性別についてお答えください。

問1	回答数	%
男性	246	41.2
女性	341	57.1
無回答	10	1.7
計	597	100.0

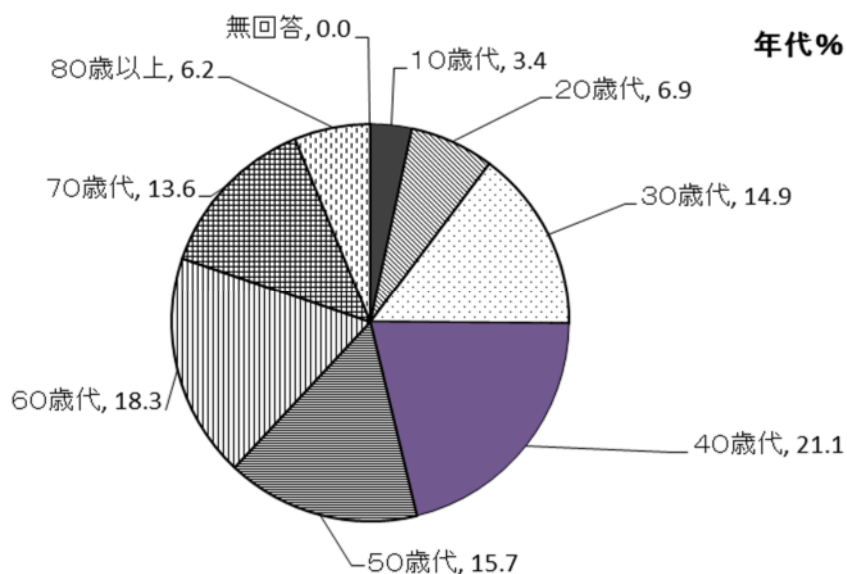


2) 年齢

回答者の年齢は、40 歳代が 21.1%、次いで 60 歳代が 18.3%、50 歳代 15.7%、30 歳代 14.9%となった。

問2 あなたの年齢についてお答えください。(いずれか1つに○を)

問2	回答数	%
10歳代	20	3.4
20歳代	41	6.9
30歳代	89	14.9
40歳代	126	21.1
50歳代	94	15.7
60歳代	109	18.3
70歳代	81	13.6
80歳以上	37	6.2
無回答	0	0.0
計	597	100.0

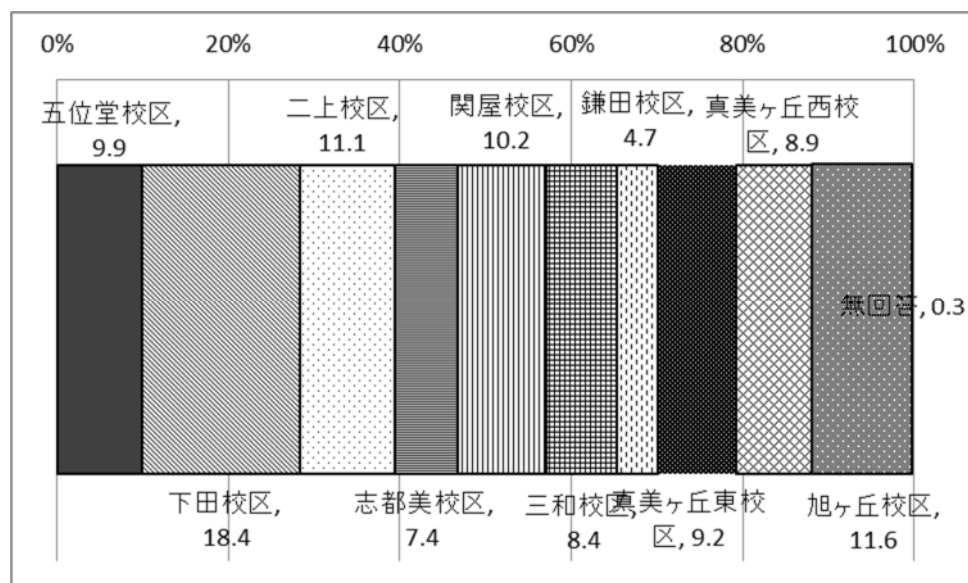


3) 居住小学校区

回答者の居住小学校区は、下田校区が 18.4%、次いで旭ヶ丘校区 11.6%、二上校区 11.1% となった。

問3 あなたの校区についてお答えください。 (いずれか1つに○を)

問3	回答数	%
五位堂校区	59	9.9
下田校区	110	18.4
二上校区	66	11.1
志都美校区	44	7.4
関屋校区	61	10.2
三和校区	50	8.4
鎌田校区	28	4.7
真美ヶ丘東校区	55	9.2
真美ヶ丘西校区	53	8.9
旭ヶ丘校区	69	11.6
無回答	2	0.3
計	597	100.0

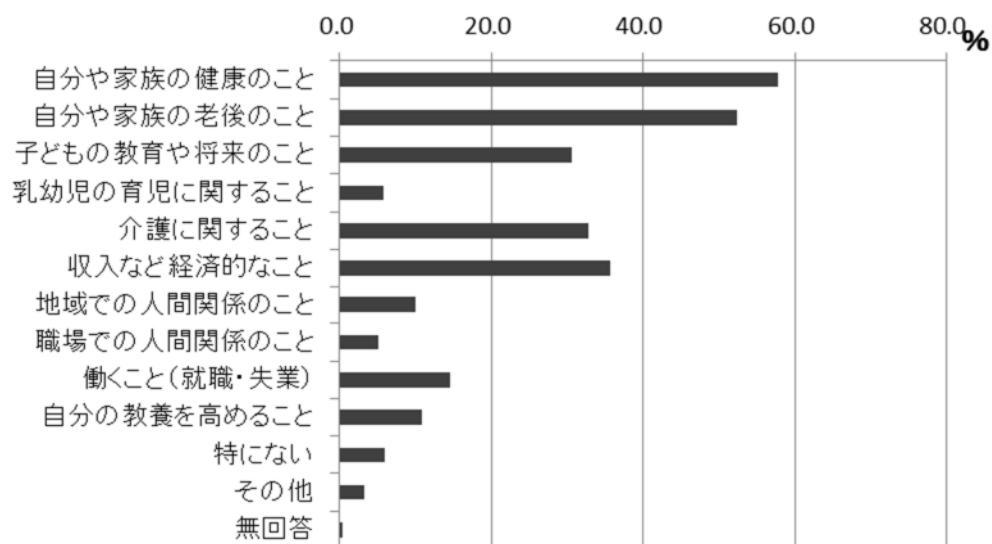


（２）日常生活での悩みや不安

日常生活で悩みや不安を感じていることをたずねたところ、「自分や家族の健康のこと」57.8%、「自分や家族の老後のこと」52.4%が多く、回答者の半数以上があげている。次いで「収入など経済的なこと」「介護に関すること」「子どもの教育や将来のこと」を3割以上の回答者があげている。

問４ あなたが、日常生活で悩みや不安を感じているとすれば、どのようなことですか。（あてはまるものすべてに○を）

問4(MA)	回答数	%
自分や家族の健康のこと	345	57.8
自分や家族の老後のこと	313	52.4
子どもの教育や将来のこと	183	30.7
乳幼児の育児に関すること	35	5.9
介護に関すること	196	32.8
収入など経済的なこと	213	35.7
地域での人間関係のこと	60	10.1
職場での人間関係のこと	31	5.2
働くこと(就職・失業)	87	14.6
自分の教養を高めること	65	10.9
特にない	36	6.0
その他	20	3.4
無回答	2	0.3
全体	597	—



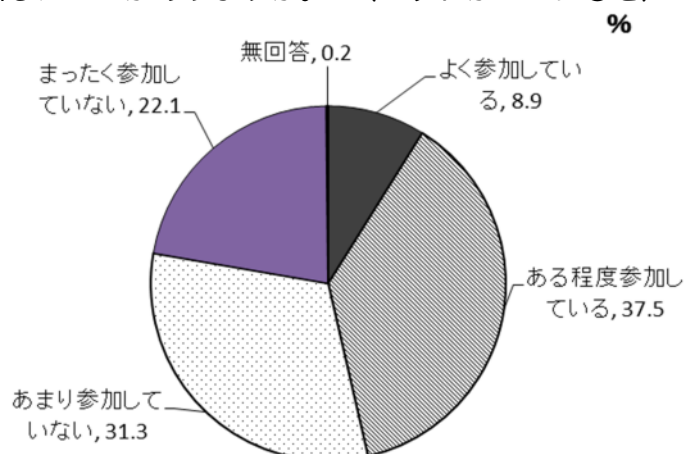
（３）地域活動等への参加

１）地域活動等への参加状況

地域の行事、地域活動等への参加状況をたずねたところ、「よく参加している」8.9%、「ある程度参加している」37.5%を合わせて、参加している人は50%を下まわっており、「まったく参加していない」が20%を超えている。

問５ あなたは、地域の行事、地域活動等へ参加したことがありますか。（いずれか１つに○を）

問5	回答数	%
よく参加している	53	8.9
ある程度参加している	224	37.5
あまり参加していない	187	31.3
まったく参加していない	132	22.1
無回答	1	0.2
計	597	100.0

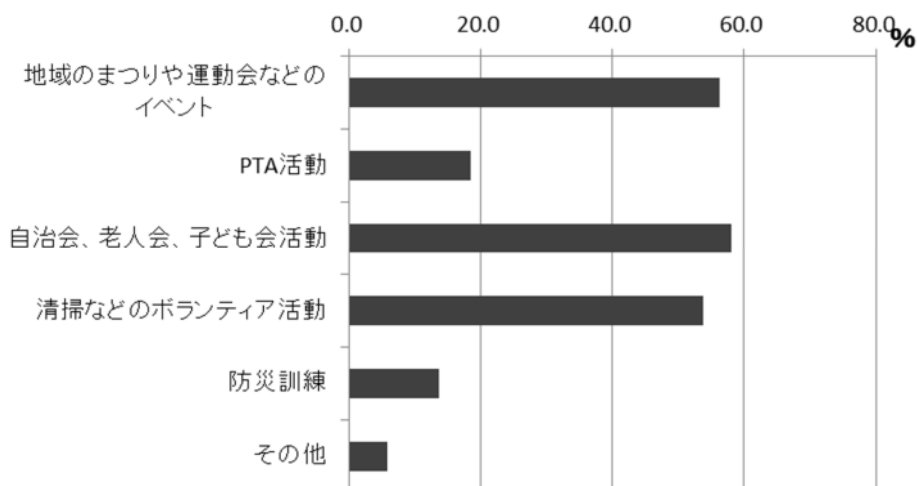


２）参加している地域活動等の内容

地域活動等に「よく参加している」、「ある程度参加している」回答者に活動内容をたずねたところ、「自治会、老人会、子ども会活動」58.1%、「地域のまつりや運動会などのイベント」56.3%「清掃などのボランティア活動」53.8%で、5割以上で多かった。

問５-１ 問５で「１．よく参加している、２．ある程度参加している」とお答えの方のみ、おたずねします。それはどのような活動ですか。（あてはまるものすべてに○を）

問5-1(MA)	回答数	%
地域のまつりや運動会などのイベント	156	56.3
PTA活動	51	18.4
自治会、老人会、子ども会活動	161	58.1
清掃などのボランティア活動	149	53.8
防災訓練	38	13.7
その他	16	5.8
無回答	0	0.0
問５回答 1,2	277	-

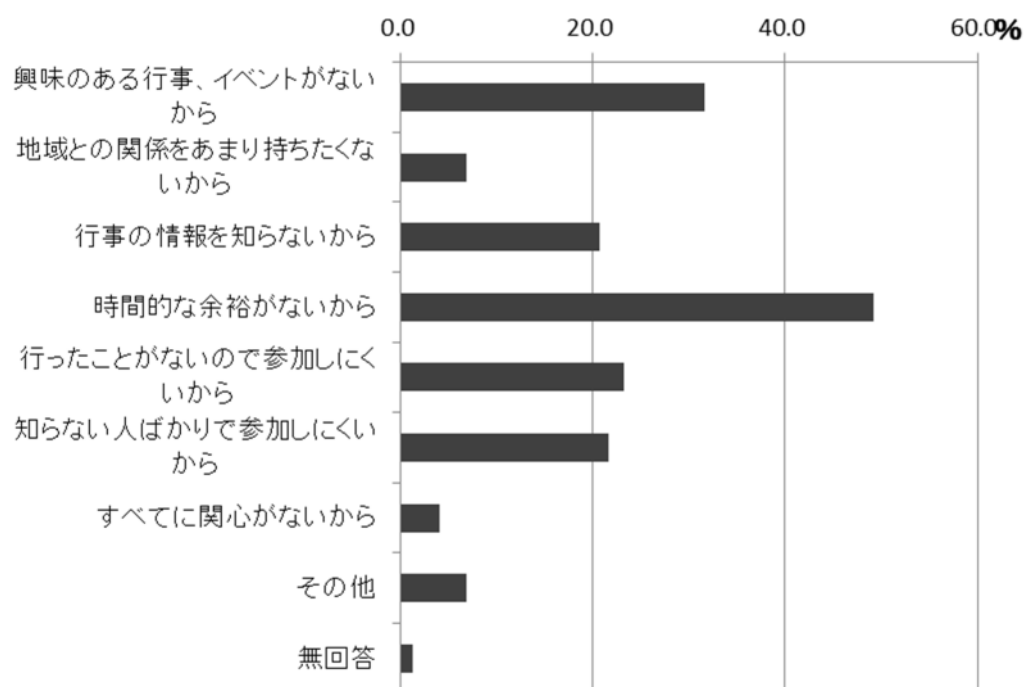


3) 地域活動等に参加しない理由

地域活動等に「あまり参加していない」、「まったく参加していない」回答者に参加しない理由をたずねたところ、「時間的な余裕がないから」49.2%が最も多く、次いで「興味のある行事、イベントがないから」31.7%、「行ったことがないので参加しにくいから」23.2%、「知らない人ばかりで参加しにくいから」21.6%だった。「行事の情報を知らないから」が20.7%あり、行事、地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないということは課題といえる。

問5-2 問5で「3. あまり参加していない、4. まったく参加していない」とお答えの方のみ、おたずねします。参加されない理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○を）

問5-2(MA)	回答数	%
興味のある行事、イベントがないから	101	31.7
地域との関係をあまり持ちたくないから	22	6.9
行事の情報を知らないから	66	20.7
時間的な余裕がないから	157	49.2
行ったことがないので参加しにくいから	74	23.2
知らない人ばかりで参加しにくいから	69	21.6
すべてに関心がないから	13	4.1
その他	22	6.9
無回答	4	1.3
問5回答3,4	319	-



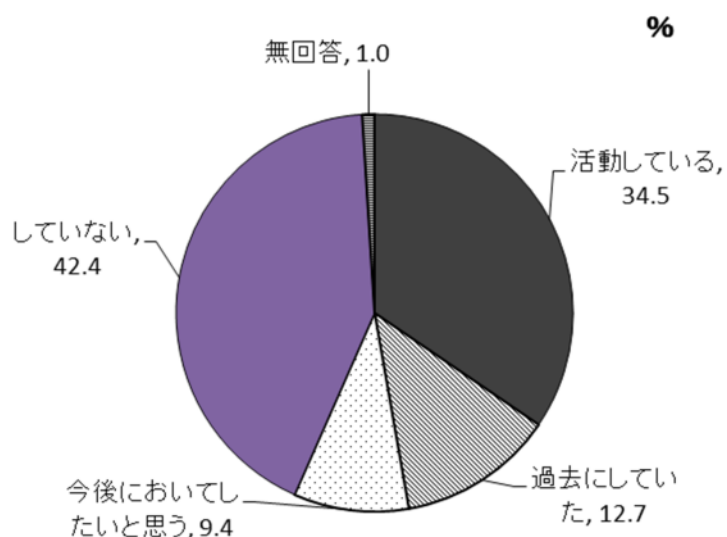
（４）生涯学習に関する活動状況

１）生涯学習に関する活動状況

この１年間の「生涯学習」に関する活動状況をたずねたところ、「活動している」は34.5%、「過去にしていた」12.7%を「今後においてしたいと思う」を合わせると 50%を上まわりますが、「していない」が42.4%で多数を占めている。

問６ あなたは、この１年間に「生涯学習」に関する活動をしていましたか。（いずれか１つに○を）

問6	回答数	%
活動している	206	34.5
過去にしていた	76	12.7
今後においてしたいと思う	56	9.4
していない	253	42.4
無回答	6	1.0
計	597	100.0



２）生涯学習活動の形態

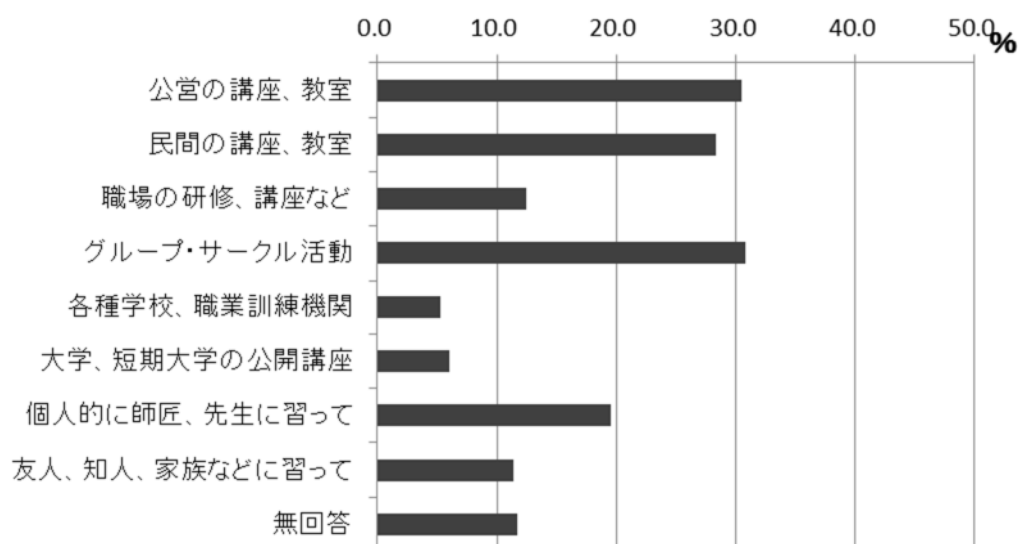
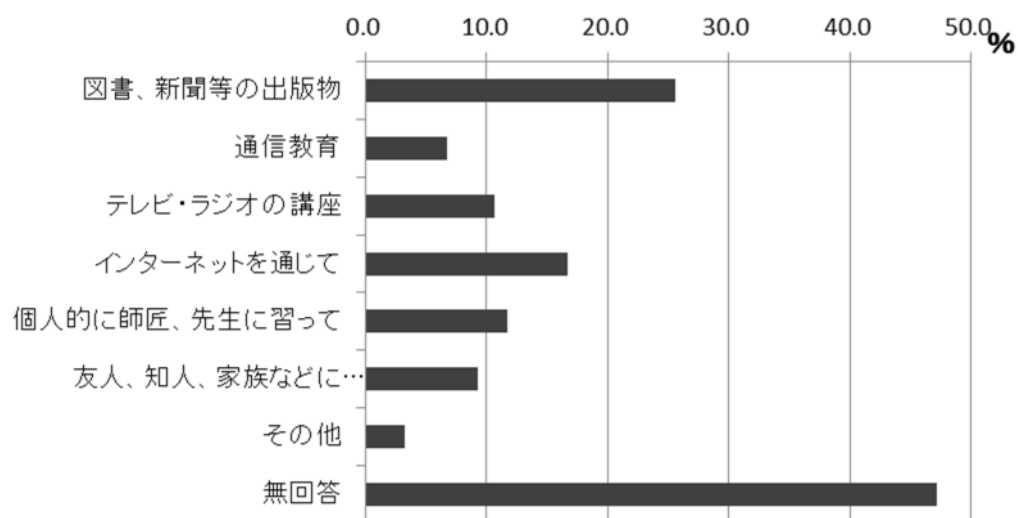
「活動している」「過去にしていた」回答者に、どのような形態で生涯学習活動をしているかたずねたところ、自宅では「図書、新聞等の出版物」が最も多く25.5%、次いで「インターネットを通じて」が16.7%となった。

自宅以外では、「グループ・サークル活動」30.9%、「公営の講座、教室」30.5%、「民間の講座、教室」28.4%が、上位を占めている。

問７ 問６で、「１．活動している」「２．過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、自宅や自宅以外でどのような形態で生涯学習活動をしていましたか。（あてはまるものすべてに○を）

問7自宅(MA)	回答数	%
図書、新聞等の出版物	72	25.5
通信教育	19	6.7
テレビ・ラジオの講座	30	10.6
インターネットを通じて	47	16.7
個人的に師匠、先生に習って	33	11.7
友人、知人、家族などに習って	26	9.2
その他	9	3.2
無回答	133	47.2
問6回答1,2	282	-

問7自宅以外(MA)	回答数	%
公営の講座、教室	86	30.5
民間の講座、教室	80	28.4
職場の研修、講座など	35	12.4
グループ・サークル活動	87	30.9
各種学校、職業訓練機関	15	5.3
大学、短期大学の公開講座	17	6.0
個人的に師匠、先生に習って	55	19.5
友人、知人、家族などに習って	32	11.3
無回答	33	11.7
問 6 回答 1,2	282	-



3) 生涯学習活動の内容

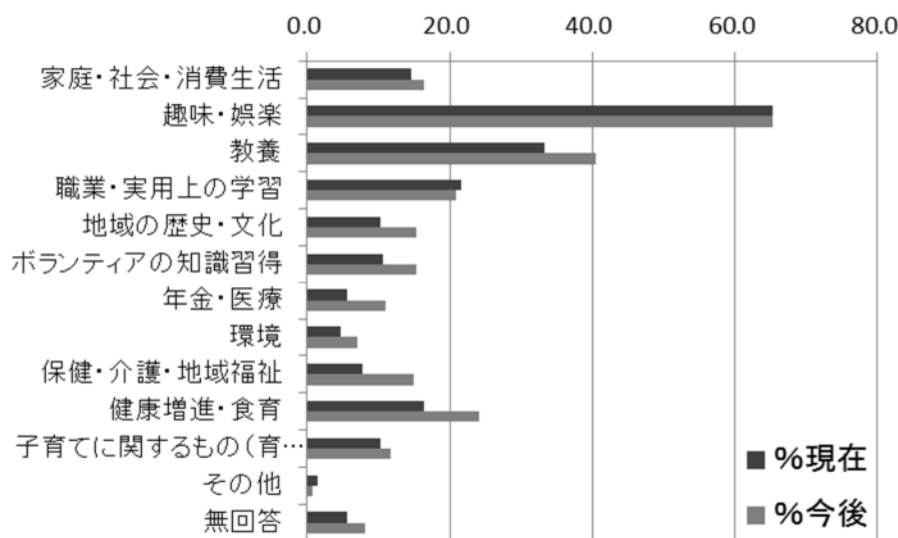
「活動している」「過去にしていた」回答者に、現在までどのような生涯学習活動をしているか、また今後どのような生涯学習をしたいかをたずねたところ、現在、今後とも「趣味・娯楽」が最も多く、次いで「教養」となった。今後したい生涯学習では、「教養」と「健康増進・食育」「保健・介護・地域福祉」が、現在よりも多くなっている。

問7-1 問6で、「1. 活動している」「2. 過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。

① あなたは、現在までどのような生涯学習をしましたか。(あてはまるものすべてに○を)

② あなたは、今後どのような生涯学習をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問7-1①(MA)	現在		今後	
	回答数	%	回答数	%
家庭・社会・消費生活	41	14.5	46	16.3
趣味・娯楽	184	65.2	184	65.2
教養	94	33.3	114	40.4
職業・実用上の学習	61	21.6	59	20.9
地域の歴史・文化	29	10.3	43	15.2
ボランティアの知識習得	30	10.6	43	15.2
年金・医療	16	5.7	31	11.0
環境	13	4.6	20	7.1
保健・介護・地域福祉	22	7.8	42	14.9
健康増進・食育	46	16.3	68	24.1
子育てに関するもの(育児・教育)	29	10.3	33	11.7
その他	4	1.4	2	0.7
無回答	16	5.7	23	8.2
問6回答1,2	282	-	282	-

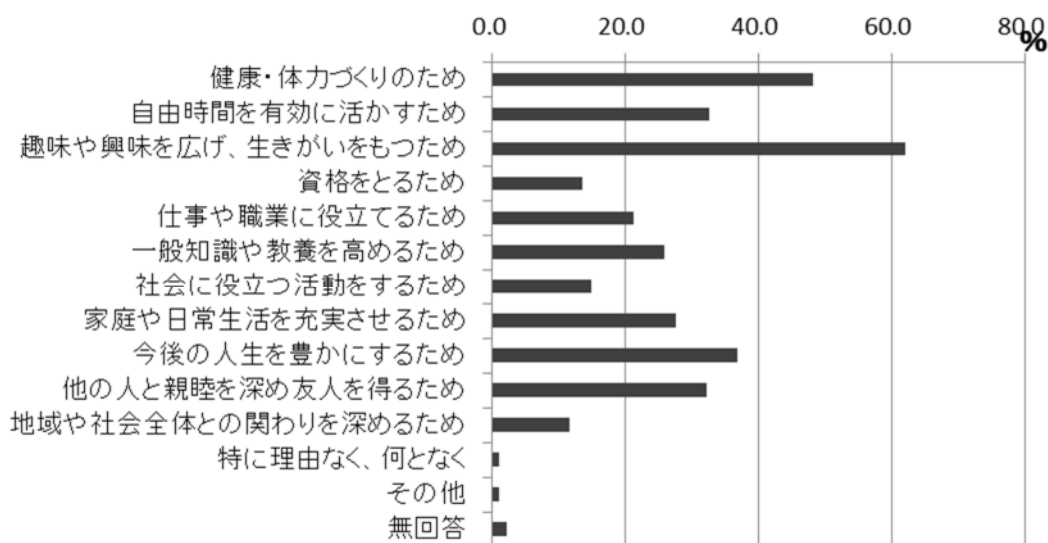


（５）生涯学習活動を行う目的

「活動している」「過去にしていた」回答者に、生涯学習に関する活動を行う目的や動機をたずねたところ、「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」が62.1%で最も多く、次いで「健康・体力づくりのため」が48.2%と多かった。さらに、「今後の人生を豊かにするため」36.9%、「自由時間を有効に活かすため」32.6%、「他の人と親睦を深め友人を得るため」32.3%となっている。

問7-2 問6で、「1. 活動している」「2. 過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、その生涯学習に関する活動を行う目的や動機は何ですか。（あてはまるものすべてに○を）

問7-2(MA)	回答数	%
健康・体力づくりのため	136	48.2
自由時間を有効に活かすため	92	32.6
趣味や興味を広げ、生きがいをもつため	175	62.1
資格をとるため	38	13.5
仕事や職業に役立てるため	60	21.3
一般知識や教養を高めるため	73	25.9
社会に役立つ活動をするため	42	14.9
家庭や日常生活を充実させるため	78	27.7
今後の人生を豊かにするため	104	36.9
他の人と親睦を深め友人を得るため	91	32.3
地域や社会全体との関わりを深めるため	33	11.7
特に理由なく、何となく	3	1.1
その他	3	1.1
無回答	6	2.1
問6 回答 1,2	282	-

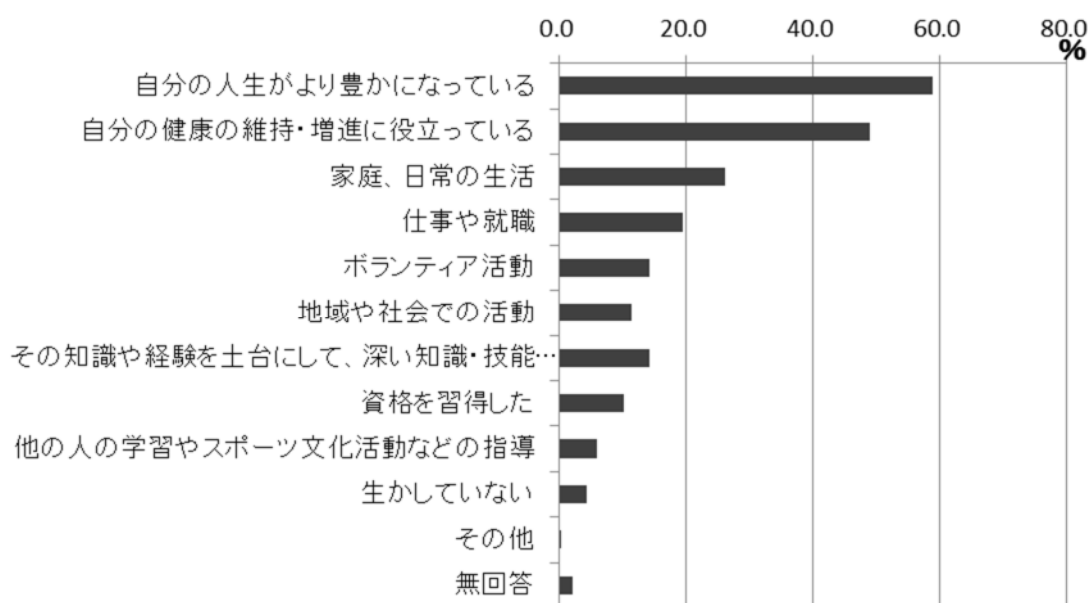


（６）生涯学習活動の活用

「活動している」「過去にしていた」回答者に、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしているかをたずねたところ、「自分の人生がより豊かになっている」が 58.9%で最も多く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」が 48.9%と多かった。さらに、「家庭、日常生活」26.2%、「仕事や就職」19.5%と続き、自分自身の生活や仕事のために生涯学習が活かされていることがわかる。

問7-3 問6で、「1. 活動している」「2. 過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、その生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしていますか。（あてはまるものすべてに○を）

問7-3(MA)	回答数	%
自分の人生がより豊かになっている	166	58.9
自分の健康の維持・増進に役立っている	138	48.9
家庭、日常生活	74	26.2
仕事や就職	55	19.5
ボランティア活動	40	14.2
地域や社会での活動	32	11.3
その知識や経験を土台にして、深い知識・技能を身につけるように生かしている	40	14.2
資格を習得した	29	10.3
他の人の学習やスポーツ文化活動などの指導	17	6.0
生かしていない	12	4.3
その他	1	0.4
無回答	6	2.1
問6 回答 1,2	282	—

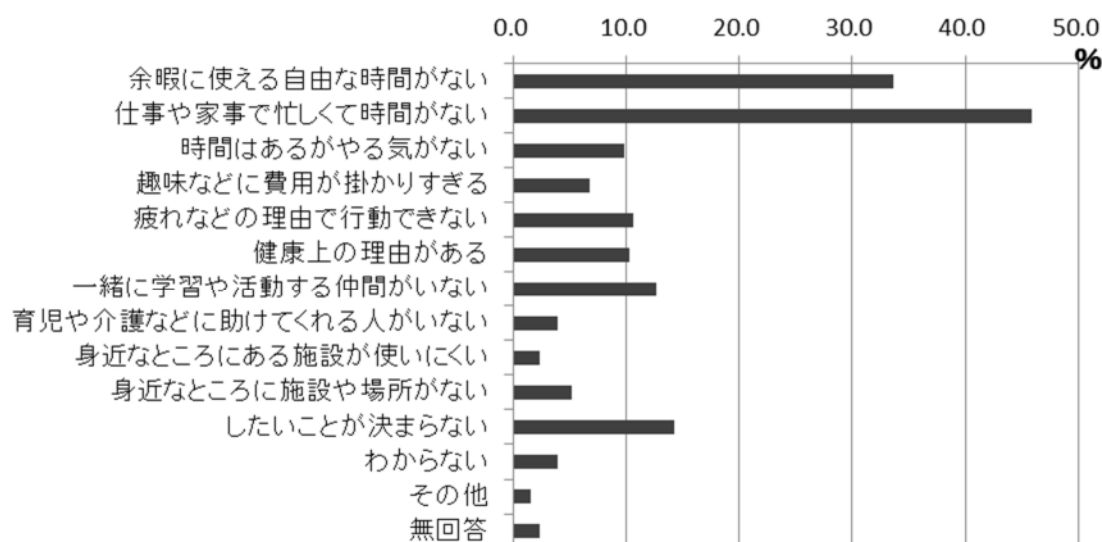


（７）生涯学習活動をしていない理由

「活動していない」回答者に、その理由をたずねたところ、「仕事や家事で忙しくて時間がない」が45.8%で最も多く、次いで「余暇に使える自由な時間がない」が33.6%と多かった。「したいことが決まらない」14.2%、「一緒に学習や活動する仲間がいない」12.6%と続くが、時間がないことが大きな理由となっていることがわかる。

問7-4 問6で、「4. していない」とお答えの方のみ、おたずねします。
その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○を）

問7-4(MA)	回答数	%
余暇に使える自由な時間がない	85	33.6
仕事や家事で忙しくて時間がない	116	45.8
時間はあるがやる気がない	25	9.9
趣味などに費用が掛かりすぎる	17	6.7
疲れなどの理由で行動できない	27	10.7
健康上の理由がある	26	10.3
一緒に学習や活動する仲間がいない	32	12.6
育児や介護などに助けてくれる人がいない	10	4.0
身近なところにある施設が使いにくい	6	2.4
身近なところに施設や場所がない	13	5.1
したいことが決まらない	36	14.2
わからない	10	4.0
その他	4	1.6
無回答	6	2.4
問6回答4	253	-



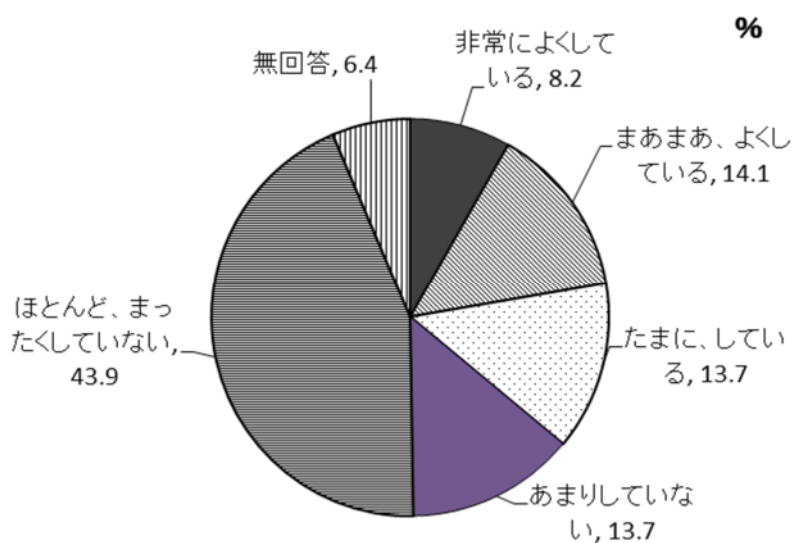
（８）スポーツ・レクリエーション活動の状況

１）スポーツ・レクリエーション活動状況

過去１年間に、何かの「スポーツ・レクリエーション」をしたかをたずねたところ、「ほとんど、まったくしていない」が43.9%で最も多くなった。次いで「まあまあ、よくしている」が14.1%だったが、「非常によくしている」8.2%、「たまに、している」13.7%とあわせても36%に過ぎなかった。

問８ ①過去１年間に、何かの「スポーツ・レクリエーション」をされましたか。（いずれか１つに○を）

問8①	回答数	%
非常によくしている	49	8.2
まあまあ、よくしている	84	14.1
たまに、している	82	13.7
あまりしていない	82	13.7
ほとんど、まったくしていない	262	43.9
無回答	38	6.4
計	597	100.0

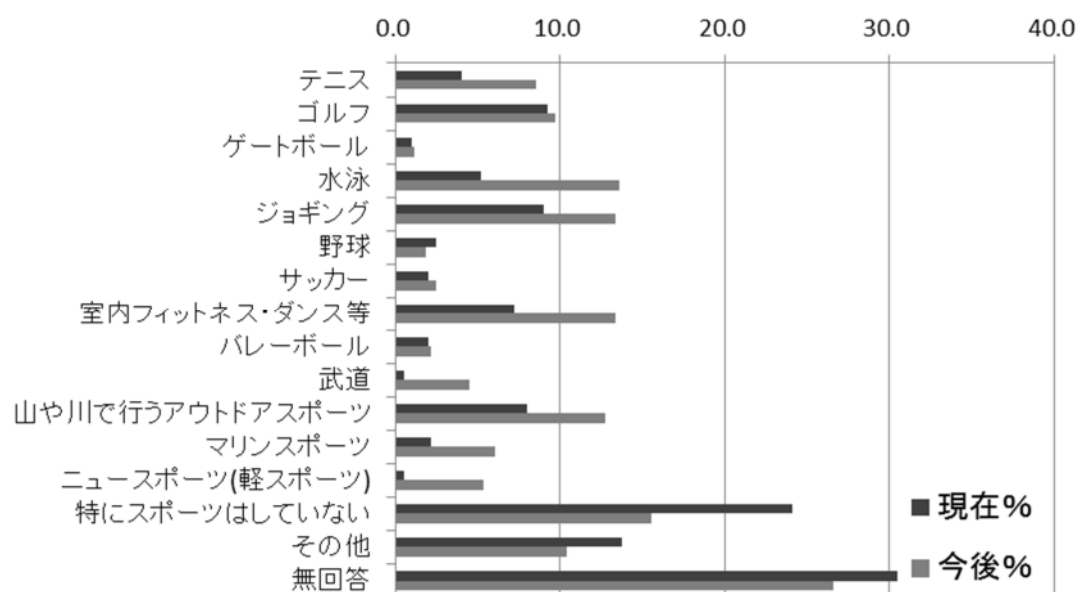


2) スポーツ・レクリエーション活動の内容

現在しているスポーツまた、今後したいと思っているスポーツについてたずねたところ、現在は「特にスポーツはしていない」が24.1%で最も多くかったが、今後については回答比率が15.6%に下がっている。今後したいスポーツは、「水泳」13.6%、「ジョギング」13.4%、「室内フィットネス・ダンス等」13.4%「山や川で行うアウトドアスポーツ」12.7%が多かった。「山や川で行うアウトドアスポーツ」が多いのは特徴といえる。

②現在している「スポーツ」また、今後したいと思っている「スポーツ」について下記の選択肢の中から、選んでください。(あてはまるものすべてに○を)

問8②(MA)	現在		今後	
	回答数	%	回答数	%
テニス	24	4.0	51	8.5
ゴルフ	55	9.2	58	9.7
ゲートボール	6	1.0	7	1.2
水泳	31	5.2	81	13.6
ジョギング	54	9.0	80	13.4
野球	15	2.5	11	1.8
サッカー	12	2.0	15	2.5
室内フィットネス・ダンス等	43	7.2	80	13.4
バレーボール	12	2.0	13	2.2
武道	3	0.5	27	4.5
山や川で行うアウトドアスポーツ	48	8.0	76	12.7
マリンスポーツ	13	2.2	36	6.0
ニュースポーツ(軽スポーツ)	3	0.5	32	5.4
特にスポーツはしていない	144	24.1	93	15.6
その他	82	13.7	62	10.4
無回答	182	30.5	159	26.6
全体	597	-	597	-



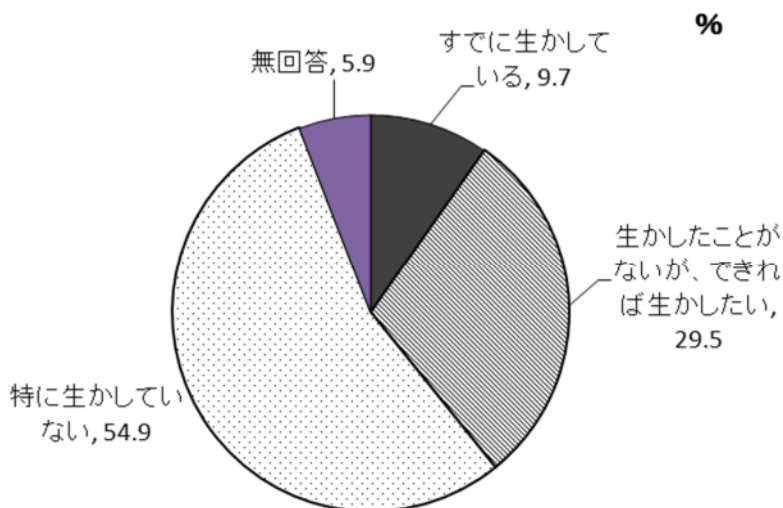
（９）ボランティア活動

１）ボランティア活動への意向

地域のために、自分の経験や知識、特技あるいは余暇時間をボランティア活動に生かしたいと思うかをたずねたところ、「特に生かしていない」が 54.9%で最も多くなった。次いで「生かしたことがないが、できれば生かしたい」が 29.5%で、「すでに生かしている」9.7%、とあわせても 39.2%だった。

問９ あなたは、地域のために、自分の経験や知識、特技あるいは余暇時間をボランティア活動に生かしたいと思いますか。（いずれか１つに○を）

問9	回答数	%
すでに生かしている	58	9.7
生かしたことがないが、できれば生かしたい	176	29.5
特に生かしていない	328	54.9
無回答	35	5.9
計	597	100.0



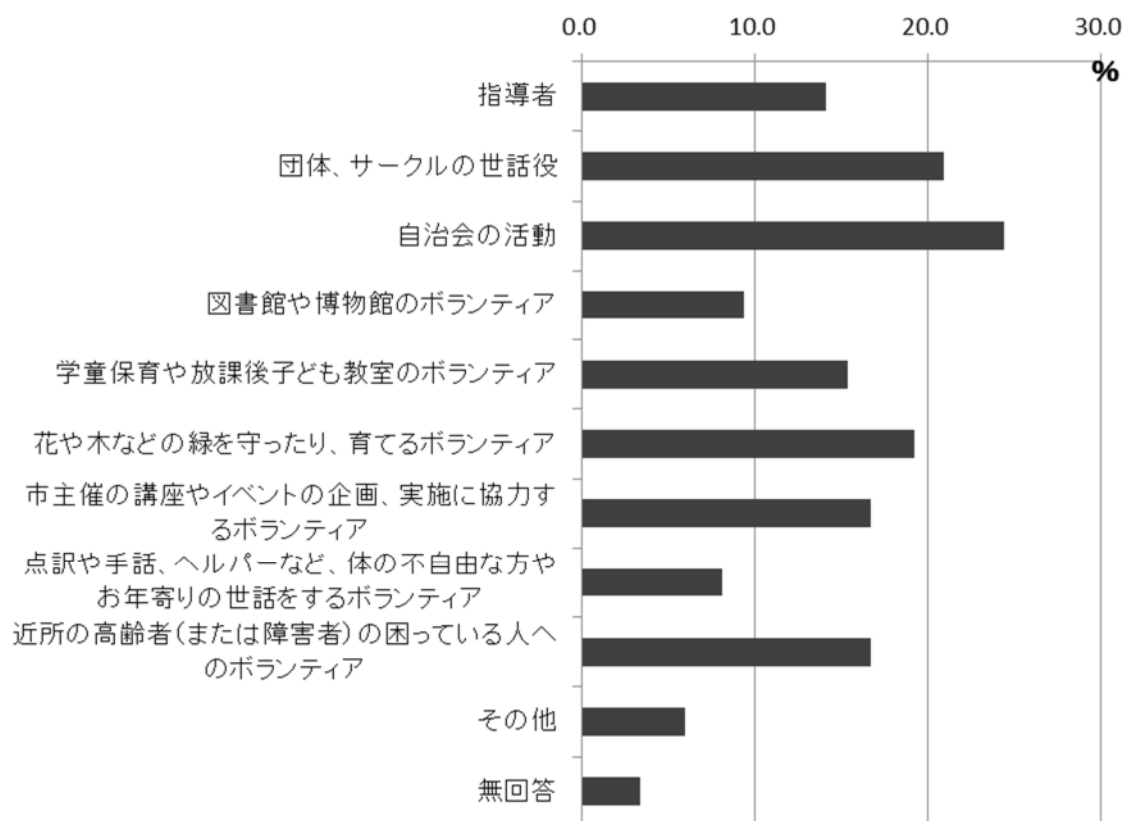
2) ボランティア活動の内容

「すでに生かしている」「生かしたことがないが、できれば生かしたい」の回答者に、どのような形で生かしているか、また生かしたいと思うかをたずねたところ、「自治会の活動」が24.4%、「団体、サークルの世話役」20.9%で多かった。次いで「花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア」19.2%、「市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア」16.7%、「近所の高齢者（または障害者）の困っている人へのボランティア」16.7%と続いている。多様なボランティア活動への参加意向が存在している。

問9-1 問9で「1・2」と答えた方にお聞きします。

どのような形で生かしているか、また生かしたいと思いますか。（2つ以内に○を）

問9-1(MA)	回答数	%
指導者	33	14.1
団体、サークルの世話役	49	20.9
自治会の活動	57	24.4
図書館や博物館のボランティア	22	9.4
学童保育や放課後子ども教室のボランティア	36	15.4
花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア	45	19.2
市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア	39	16.7
点訳や手話、ヘルパーなど、体の不自由な方やお年寄りの世話をするボランティア	19	8.1
近所の高齢者(または障害者)の困っている人へのボランティア	39	16.7
その他	14	6.0
無回答	8	3.4
問9 回答 1,2	234	-

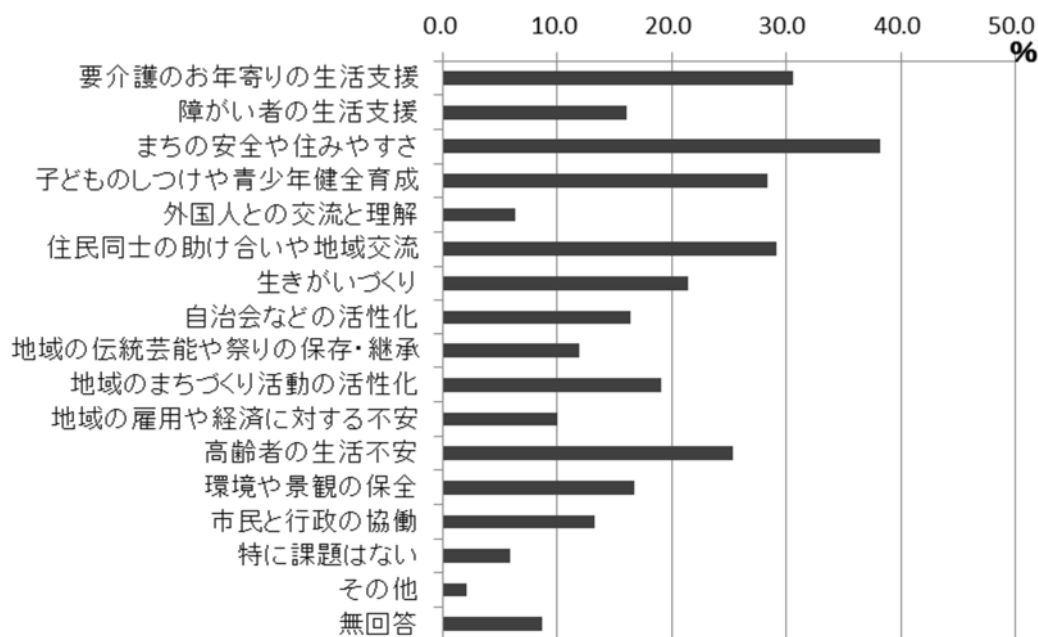


(10) 地域の課題

地域にどのような課題があると思うかをたずねたところ、「まちの安全や住みやすさ」が38.2%で最も多かった。次いで「要介護のお年寄りの生活支援」30.7%、「住民同士の助け合いや地域交流」29.1%、「子どものしつけや青少年健全育成」28.3%と続いている。

問10 あなたは、地域にどのような課題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問10(MA)	回答数	%
要介護のお年寄りの生活支援	183	30.7
障がい者の生活支援	96	16.1
まちの安全や住みやすさ	228	38.2
子どものしつけや青少年健全育成	169	28.3
外国人との交流と理解	38	6.4
住民同士の助け合いや地域交流	174	29.1
生きがいづくり	128	21.4
自治会などの活性化	98	16.4
地域の伝統芸能や祭りの保存・継承	71	11.9
地域のまちづくり活動の活性化	114	19.1
地域の雇用や経済に対する不安	60	10.1
高齢者の生活不安	151	25.3
環境や景観の保全	100	16.8
市民と行政の協働	79	13.2
特に課題はない	35	5.9
その他	12	2.0
無回答	52	8.7
全体	597	-

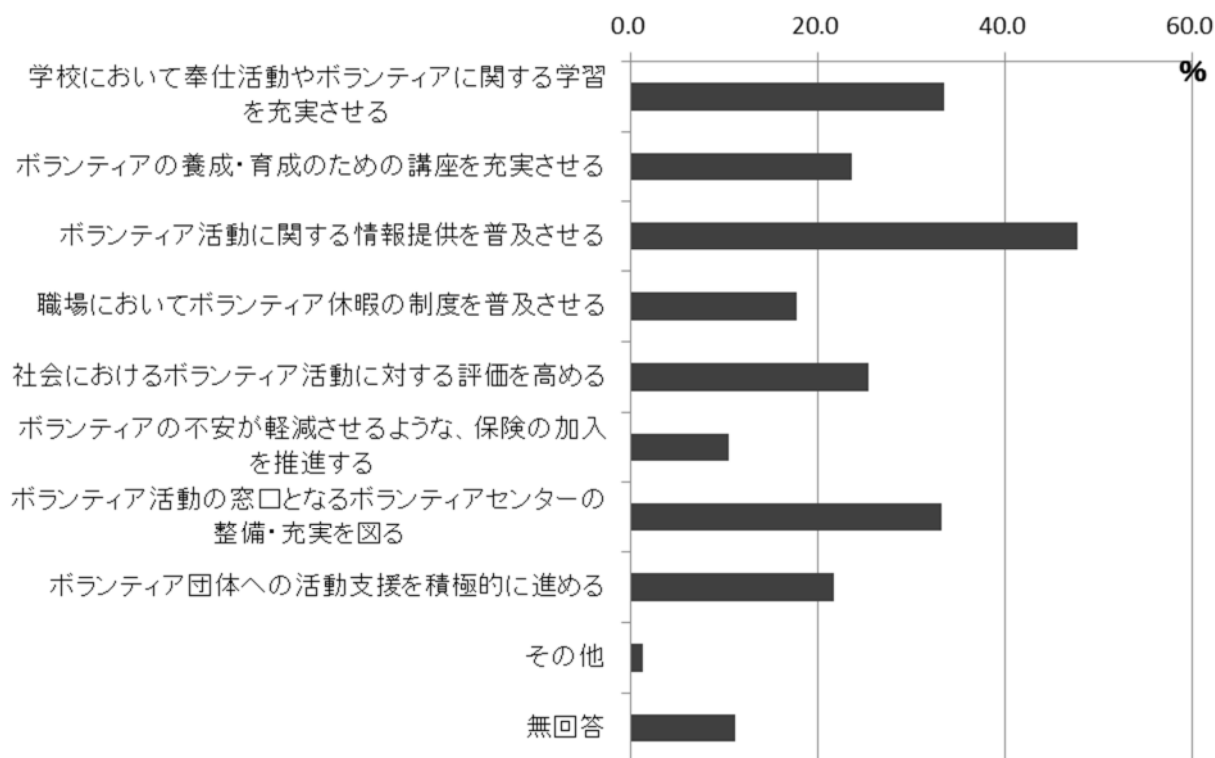


（１１）ボランティア活動を盛んにするための取組み

ボランティア活動を盛んにするために、どのような取組みが必要だと思うかをたずねたところ、「ボランティア活動に関する情報提供を普及させる」が 47.7%で最も多かった。次いで「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」33.5%、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの整備・充実を図る」33.2%と続いている。

問１１ あなたは、ボランティア活動を盛んにするために、どのような取組みが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○を）

問１１(MA)	回答数	%
学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる	200	33.5
ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる	141	23.6
ボランティア活動に関する情報提供を普及させる	285	47.7
職場においてボランティア休暇の制度を普及させる	106	17.8
社会におけるボランティア活動に対する評価を高める	152	25.5
ボランティアの不安が軽減させるような、保険の加入を推進する	63	10.6
ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの整備・充実を図る	198	33.2
ボランティア団体への活動支援を積極的に進める	130	21.8
その他	8	1.3
無回答	67	11.2
全体	597	-



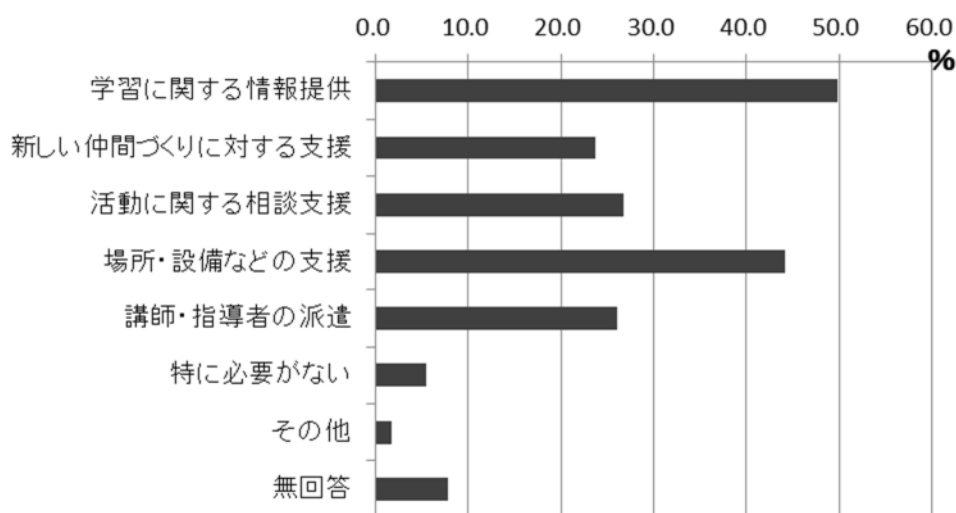
（１２）生涯学習への支援

生涯学習をするために、どのような支援があると良いと思うかをたずねたところ、「学習に関する情報提供」が 49.9%で最も多かった。次いで「場所・設備などの支援」44.2%、「活動に関する相談支援」26.8%、「講師・指導者の派遣」26.1%、「新しい仲間づくりに対する支援」23.8%と続いている。

ボランティア活動を盛んにするための取組みと同様に、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きいといえる。

問１２ あなたは、生涯学習をするために、どのような支援があると良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○を）

問12(MA)	回答数	%
学習に関する情報提供	298	49.9
新しい仲間づくりに対する支援	142	23.8
活動に関する相談支援	160	26.8
場所・設備などの支援	264	44.2
講師・指導者の派遣	156	26.1
特に必要がない	33	5.5
その他	10	1.7
無回答	47	7.9
全体	597	—



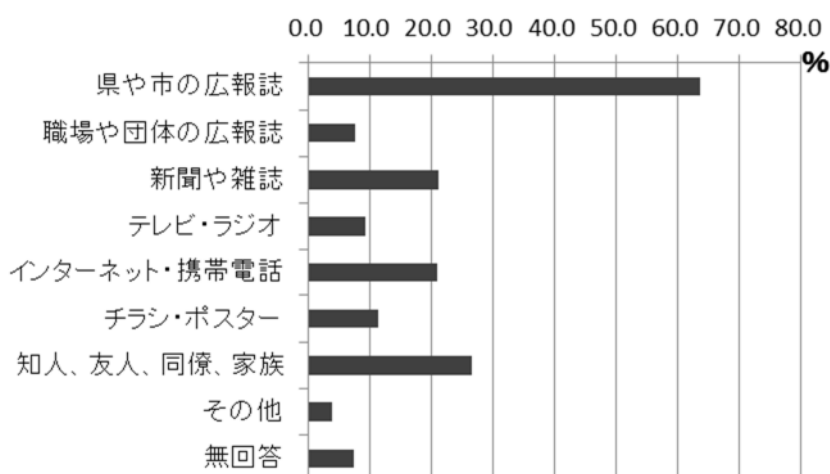
（１３）生涯学習の情報

生涯学習の情報をどこから得ているかをたずねたところ、「県や市の広報誌」が63.7%で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」26.5%、「新聞や雑誌」21.1%、「インターネット・携帯電話」20.9%と続いている。

行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、新聞・雑誌など従来からの情報源と合わせて、インターネット・携帯電話も情報源として利用されていることがわかる。

問13 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○を）

問13(MA)	回答数	%
県や市の広報誌	380	63.7
職場や団体の広報誌	45	7.5
新聞や雑誌	126	21.1
テレビ・ラジオ	56	9.4
インターネット・携帯電話	125	20.9
チラシ・ポスター	68	11.4
知人、友人、同僚、家族	158	26.5
その他	23	3.9
無回答	44	7.4
全体	597	-



(14) 市の生涯学習への取組み

1) 取組みの重要度

香芝市が行っている生涯学習の取組みについて、今後の重要度をたずねた。「重要」の回答率%が高いのは、「中核的な公共施設の整備・充実（モナミホール・図書館・博物館）」「体育施設の整備・充実（体育館・グラウンド）」「身近なところでの学習機会の充実」「講座、講演会などの種類や数の充実」「生涯学習に対する情報提供」であった。

問18 あなたは、香芝市が行っている生涯学習の取組みは、今後どのくらい重要であると思われますか。

%	1 重要	2 ええ、 どちらか とい	3 ええ、 どちらとも い	4 あまり 重要 ではない	5 重要で ない	0 無回 答
① 講座、講演会などの種類や数の充実	22.6	30.0	29.8	4.4	2.0	11.2
② 身近なところでの学習機会の充実	23.3	32.8	26.1	3.9	2.2	11.7
③ 身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	21.3	32.5	27.1	5.9	2.0	11.2
④ 中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	28.8	32.7	22.4	3.5	1.8	10.7
⑤ 体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	27.3	30.2	24.8	4.0	2.0	11.7
⑥ 芸術・文化活動の機会の充実	20.4	32.3	31.2	2.7	2.2	11.2
⑦ スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	20.3	33.0	28.0	1.7	1.8	15.2
⑧ 家庭教育の向上につながる学習機会の提供	18.9	31.3	29.3	3.2	1.8	15.4
⑨ 指導者・リーダーの養成	18.1	27.0	33.3	3.7	2.3	15.6
⑩ 各種団体・グループ活動支援や交流	12.2	30.2	36.7	2.8	1.8	16.2
⑪ 地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	15.7	31.7	31.7	2.7	2.0	16.2
⑫ ボランティア育成や活動の支援	17.8	36.7	26.0	2.2	1.5	15.9
⑬ 学校における生涯学習活動に対する指導と推進	18.9	30.2	28.3	3.2	3.2	16.2
⑭ 大学との連携と公開講座の推進	14.2	27.3	35.2	5.2	2.5	15.6
⑮ 市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	16.8	31.2	31.7	2.5	2.2	15.7
⑯ 学んだことを発表する機会	8.2	24.1	41.2	8.0	2.8	15.6
⑰ 生涯学習に対する情報提供	22.3	36.5	21.8	2.2	2.0	15.2
⑱ 生涯学習に関する相談体制の推進	13.7	31.5	32.7	3.0	2.8	16.2
⑲ 職業の能力を身につける学習機会の提供	20.8	29.3	28.3	4.2	2.2	15.2
⑳ NPO等の活動支援	10.6	23.6	41.0	3.9	5.2	15.7

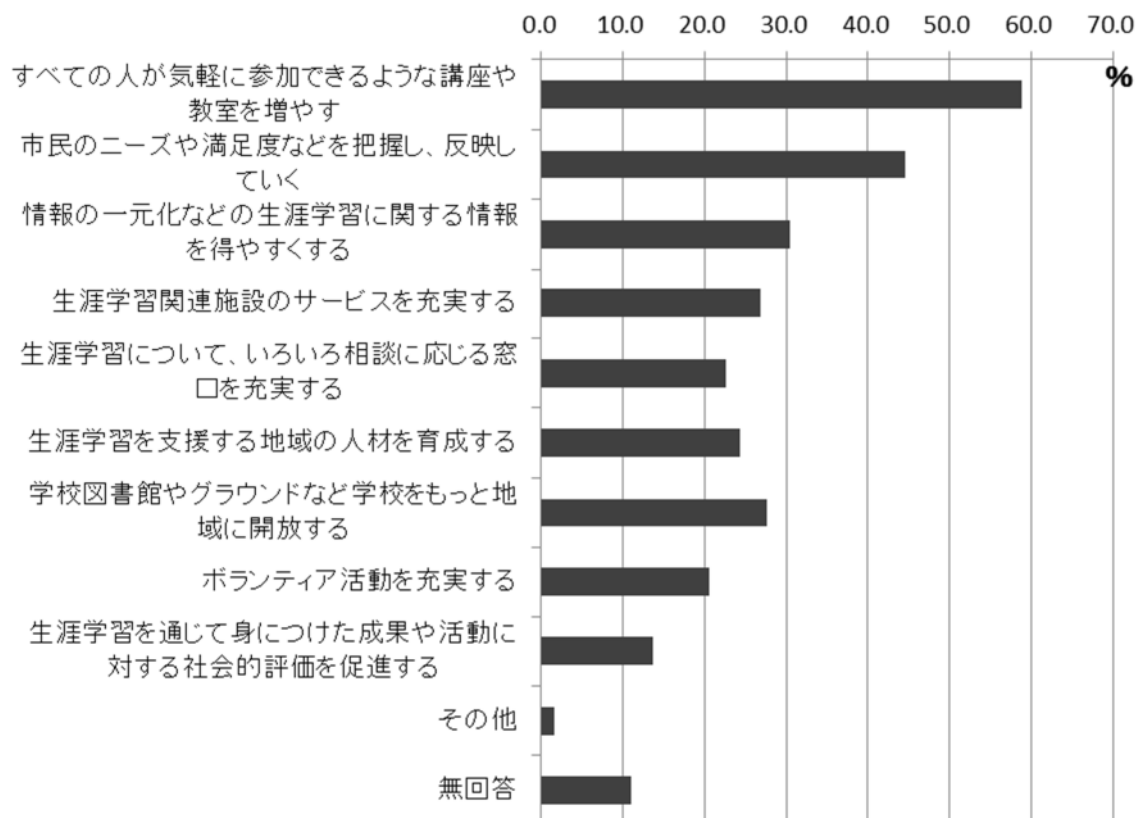
*20%以上の値に網掛け

２）生涯学習を盛んにするために市が取り組むべきこと

今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、香芝市では、どのようなことに力を入れるべきかをたずねたところ、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」が 58.8%で最も多く、次いで「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」が 44.6%「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」が 30.5%で多かった。

問１９ あなたは、今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、香芝市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるすべてに○を）

問19(MA)	回答数	%
すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす	351	58.8
市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく	266	44.6
情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする	182	30.5
生涯学習関連施設のサービスを充実する	160	26.8
生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する	135	22.6
生涯学習を支援する地域の人材を育成する	145	24.3
学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する	165	27.6
ボランティア活動を充実する	123	20.6
生涯学習を通じて身につけた成果や活動に対する社会的評価を促進する	82	13.7
その他	10	1.7
無回答	66	11.1
全体	597	—



(15) 一般市民アンケート調査結果のまとめ

○健康や老後のことに不安を感じている

日常生活で悩みや不安を感じていることとして、「自分や家族の健康のこと」、「自分や家族の老後のこと」を回答者の半数があげている。

○地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないことが課題となっている

地域の行事、地域活動等への参加状況は、「よく参加している」、「ある程度参加している」を合わせた、参加している人は50%を下まわっており、「まったく参加していない」が20%を超えている。

参加している地域活動等の内容は、「自治会、老人会、子ども会活動」、「地域のまつりや運動会などのイベント」「清掃などのボランティア活動」が、それぞれ5割以上で多かった。

地域活動等に参加しない理由としては、「時間的な余裕がないから」約5割で最も多く、次いで「興味のある行事、イベントがないから」約3割、「行ったことがないので参加しにくいから」、「知らない人ばかりで参加しにくいから」、「行事の情報を知らないから」が2割以上だった。行事、地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないということは課題といえる。

○生涯学習に関する活動をしている人は5割弱となっている

生涯学習に関する活動をしている人は、「今後においてしたいと思う」を合わせると50%を上まわるが、していない人が40%以上で多数を占めている。

生涯学習活動の内容は、現在、今後とも「趣味・娯楽」が最も多く、次いで「教養」となった。今後したい生涯学習では、「教養」と「健康増進・食育」「保健・介護・地域福祉」が、現在よりも多くなっている。

○生涯学習は、自分の人生がより豊かにし、自分の健康の維持・増進に役立っている

生涯学習に関する活動を行う目的や動機は、「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」が最も多く、次いで「健康・体力づくりのため」が多かった。

生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしているかは、「自分の人生がより豊かになっている」が最も多く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」が多かった。

○生涯学習活動をしていない理由は、時間がないことが大きな理由となっている

生涯学習活動をしていない理由は、「仕事や家事で忙しくて時間がない」が最も多く、次いで「余暇に使える自由な時間がない」が多かった。時間がないことが大きな理由となっている。

○スポーツ・レクリエーション活動をしていない人は 4 割以上

スポーツ・レクリエーション活動状況は、「ほとんど、まったくしていない」が 4 割以上で最も多くなった。

今後したいスポーツは、「水泳」、「ジョギング」、「室内フィットネス・ダンス等」「山や川で行うアウトドアスポーツ」が多かった。「山や川で行うアウトドアスポーツ」が多いのは特徴といえる。

○ボランティア活動への意向を持つ人は約 4 割

ボランティア活動への意向は、「生かしたことがないが、できれば生かしたい」、「すでに生かしている」をあわせて約 4 割だった。その内容としては、「自治会の活動」、「団体、サークルの世話役」が多かった。次いで「花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア」、「市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア」、「近所の高齢者（または障害者）の困っている人へのボランティア」と続き、多様なボランティア活動への参加意向が存在している。

ボランティア活動を盛んにするために必要な取組みとしては、「ボランティア活動に関する情報提供を普及させる」が最も多かった。次いで「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの整備・充実を図る」と続いている。

○「まちの安全や住みやすさ」が地域の課題

地域にどのような課題があるかについて、「まちの安全や住みやすさ」が最も多かった。次いで「要介護のお年寄りの生活支援」、「住民同士の助け合いや地域交流」、「子どものしつけや青少年健全育成」と続いている。

○生涯学習への支援としては、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きい

生涯学習への支援について、「学習に関する情報提供」が最も多く、次いで「場所・設備などの支援」が多かった。さらに「活動に関する相談支援」、「講師・指導者の派遣」、「新しい仲間づくりに対する支援」と続いている。

ボランティア活動を盛んにするための取組みと同様に、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きいといえる。

○生涯学習の情報源として行政からの情報提供の役割は大きい

生涯学習の情報源は、「県や市の広報誌」が 6 割強で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」、「新聞や雑誌」、「インターネット・携帯電話」と続いている。行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、新聞・雑誌など従来からの情報源と合わせて、インターネット・携帯電話も情報源として利用されている。

○今後市が力を入れるべきことは、「気軽に参加できるような講座や教室」「市民のニ

ズや満足度の把握と反映」「生涯学習に関する情報を得やすくすること」

市が行っている生涯学習の取り組みについて、今後の重要度が高い取り組みとして、「中核的な公共施設の整備・充実」「体育施設の整備・充実」「身近なところでの学習機会の充実」「講座、講演会などの種類や数の充実」「生涯学習に対する情報提供」があげられている。

今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、市として力を入れるべきことは、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」が最も多く、次いで「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」が多かった。

3 生涯学習団体アンケート調査の結果

(1) アンケート対象者の特性

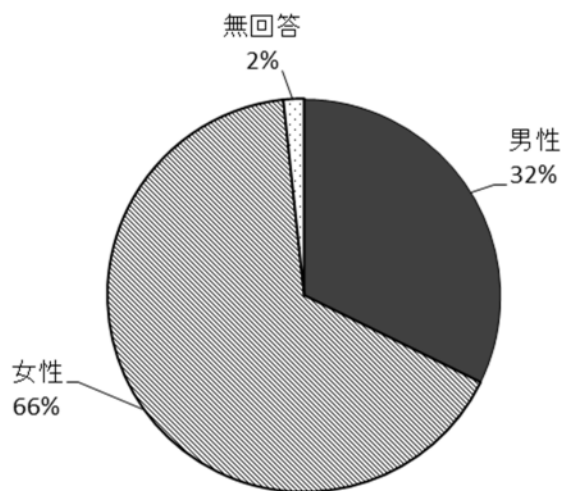
アンケート回答者の性別、居住小学校区、年代は次の通りだった。

1) 性別

回答者の性別は、男性 32%、女性 66%で女性が多かった。

問1 あなたの性別についてお答えください。

問1	回答数	%
男性	114	32.3
女性	233	66.0
無回答	6	1.7
計	353	100.0

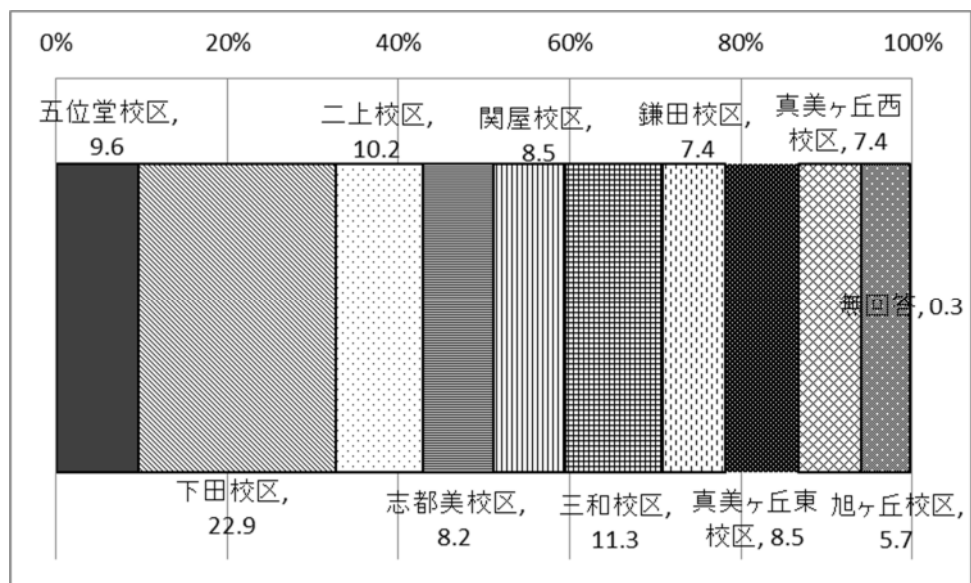


2) 居住小学校区

回答者の居住小学校区は、下田校区が 22.9%、次いで三和校区 11.3%、二上校区 10.2% となった。

問2 あなたのお住まいの校区についてお答えください。 (いずれか1つに○を)

問2	回答数	%
五位堂校区	34	9.6
下田校区	81	22.9
二上校区	36	10.2
志都美校区	29	8.2
関屋校区	30	8.5
三和校区	40	11.3
鎌田校区	26	7.4
真美ヶ丘東校区	30	8.5
真美ヶ丘西校区	26	7.4
旭ヶ丘校区	20	5.7
無回答	1	0.3
計	353	100.0

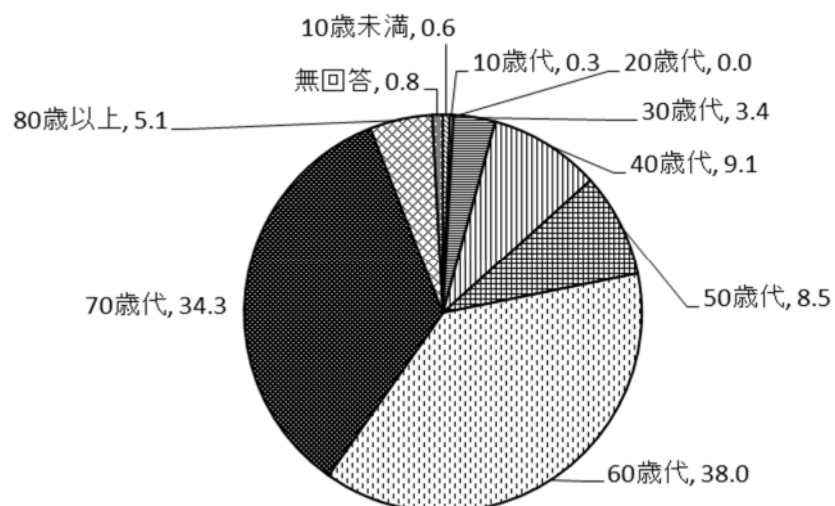


3) 年齢

回答者の年齢は、60歳代が38.0%、次いで70歳代が34.3%となった。

問3 あなたの年齢についてお答えください。 (いずれか1つに○を)

問3	回答数	%
10歳未満	2	0.6
10歳代	1	0.3
20歳代	0	0.0
30歳代	12	3.4
40歳代	32	9.1
50歳代	30	8.5
60歳代	134	38.0
70歳代	121	34.3
80歳以上	18	5.1
無回答	3	0.8
計	353	100.0



問3

（２）参加している生涯学習活動

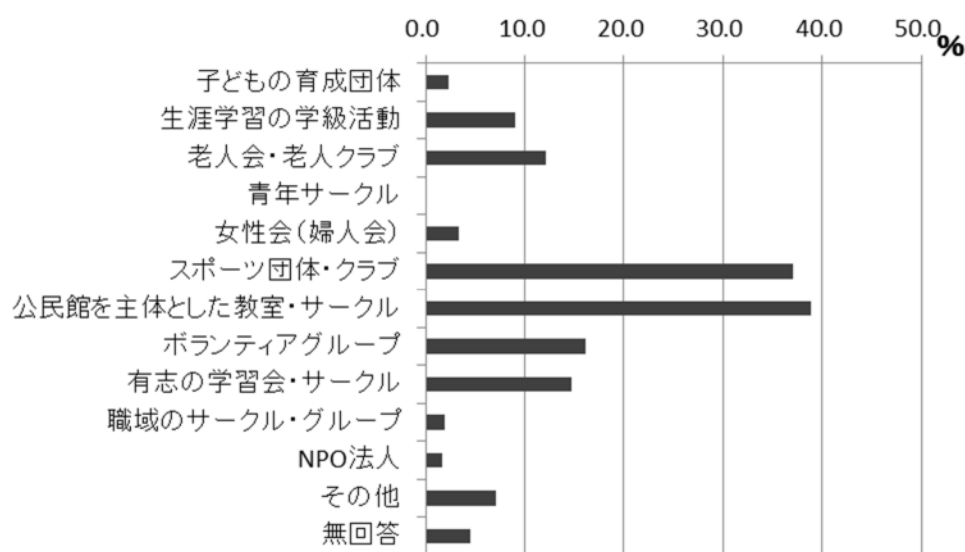
アンケート回答者が参加している生涯楽手活動は次の通りだった。

１）生涯学習団体

回答者が参加している団体は、「公民館を主体とした教室・サークル」が 38.8%、「スポーツ団体・クラブ」が 37.1% で多かった。次いで「ボランティアグループ」「有志の学習会・サークル」と多様な団体の参加者から回答が寄せられている。

問４ あなたは、どのような団体・サークル・クラブに加入されていますか。（あてはまるものすべてに○を）

問4(MA)	回答数	%
子どもの育成団体	8	2.3
生涯学習の学級活動	32	9.1
老人会・老人クラブ	43	12.2
青年サークル	0	0.0
女性会(婦人会)	12	3.4
スポーツ団体・クラブ	131	37.1
公民館を主体とした教室・サークル	137	38.8
ボランティアグループ	57	16.1
有志の学習会・サークル	52	14.7
職域のサークル・グループ	7	2.0
NPO 法人	6	1.7
その他	25	7.1
無回答	16	4.5
全体	353	—

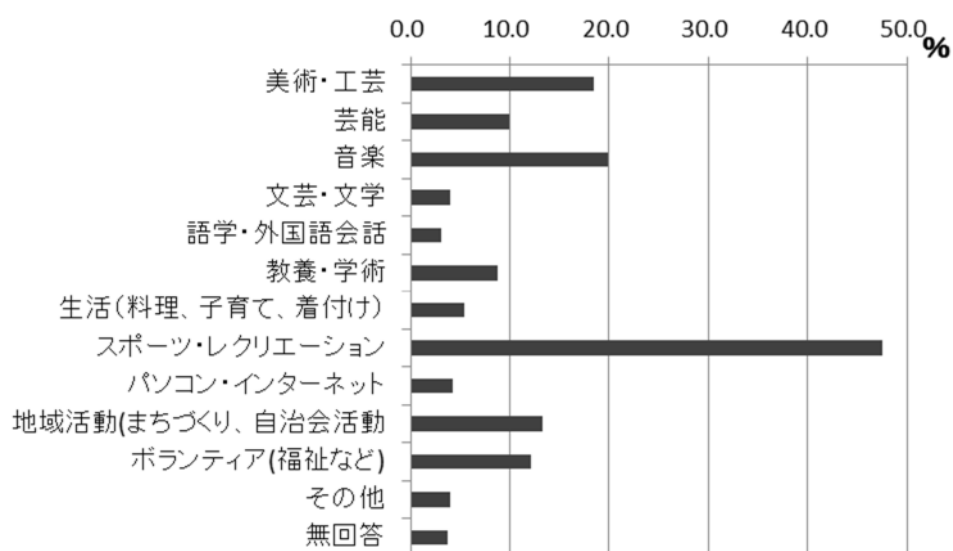


2) 生涯学習活動分野

回答者が参加している生涯学習活動の分野は、「スポーツ・レクリエーション」が最も多く 47.6%、次いで「音楽」19.8%、「美術・工芸」18.4%が多かった。「地域活動(まちづくり、自治会活動)」「ボランティア(福祉など)」と多様な活動分野の参加者から回答が寄せられている。

問5 あなたは、どのような分野の活動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問5(MA)	回答数	%
美術・工芸	65	18.4
芸能	35	9.9
音楽	70	19.8
文芸・文学	14	4.0
語学・外国語会話	11	3.1
教養・学術	31	8.8
生活(料理、子育て、着付け)	19	5.4
スポーツ・レクリエーション	168	47.6
パソコン・インターネット	15	4.2
地域活動(まちづくり、自治会活動)	47	13.3
ボランティア(福祉など)	43	12.2
その他	14	4.0
無回答	13	3.7
全体	353	—



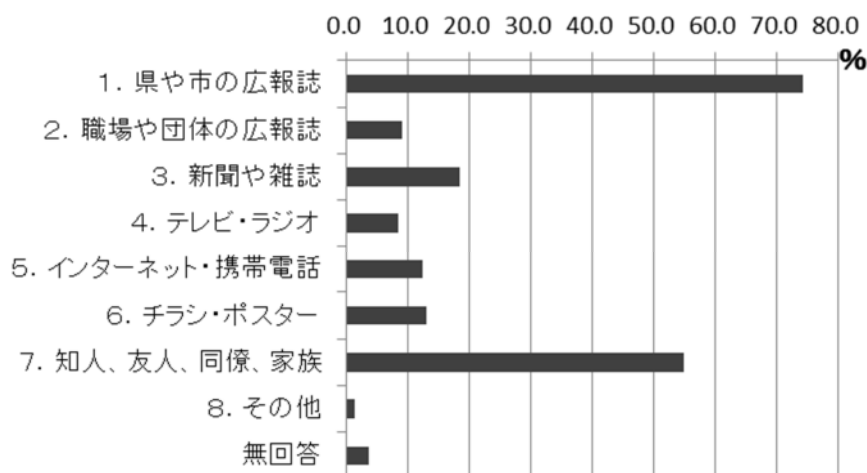
（３）生涯学習の情報

生涯学習の情報をどこから得ているかをたずねたところ、「県や市の広報誌」が74.2%で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」55.0%で多く、これは一般市民アンケートの26.5%と比べて高くなっている。「新聞や雑誌」18.4%（一般市民アンケート21.1%）と続いている。「インターネット・携帯電話」（一般市民アンケート20.9%）は12.5%だった。

一般市民アンケートと同様に、行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、団体参加者ということから「知人、友人、同僚、家族」からの情報が大きくなっていると考えられる。

問9 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○を）

問9(MA)	回答数	%
1. 県や市の広報誌	262	74.2
2. 職場や団体の広報誌	32	9.1
3. 新聞や雑誌	65	18.4
4. テレビ・ラジオ	30	8.5
5. インターネット・携帯電話	44	12.5
6. チラシ・ポスター	46	13.0
7. 知人、友人、同僚、家族	194	55.0
8. その他	5	1.4
無回答	13	3.7
全体	353	—

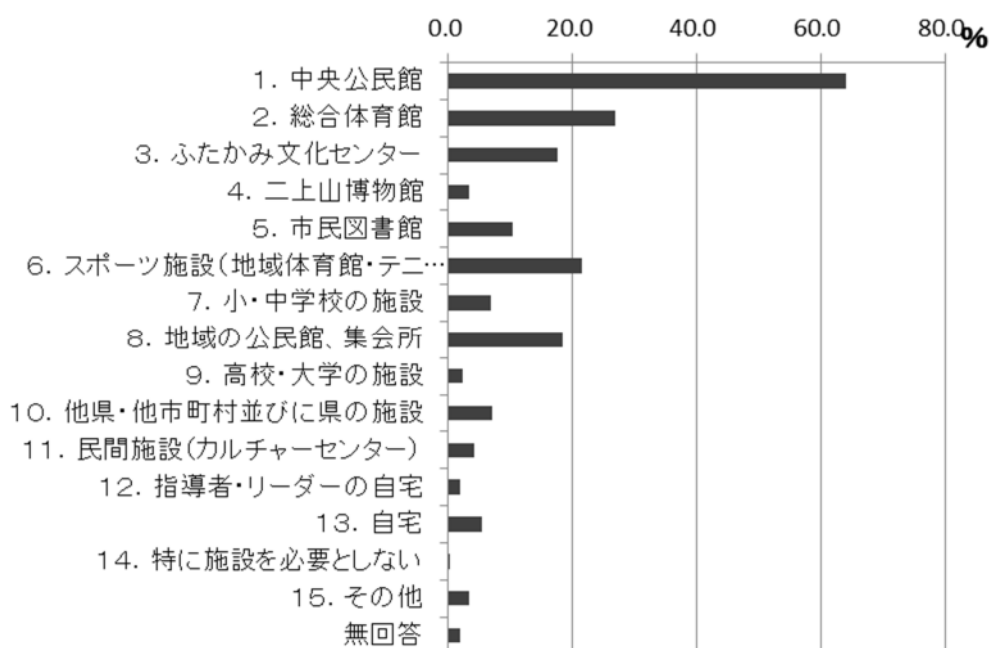


(4) 生涯学習の活動場所

主な生涯学習の活動場所をたずねたところ、「中央公民館」が64.0%で最も多かった。次いで「総合体育館」26.9%、「スポーツ施設（地域体育館・テニスコート・グラウンド）」21.5%、「地域の公民館、集会所」18.4%、「ふたかみ文化センター」17.6%と続いている。

問10 あなたの主な生涯学習の活動場所は、どこですか。（あてはまるものすべてに○を）

問10(MA)	回答数	%
1. 中央公民館	226	64.0
2. 総合体育館	95	26.9
3. ふたかみ文化センター	62	17.6
4. 二上山博物館	12	3.4
5. 市民図書館	37	10.5
6. スポーツ施設(地域体育館・テニスコート・グラウンド)	76	21.5
7. 小・中学校の施設	24	6.8
8. 地域の公民館、集会所	65	18.4
9. 高校・大学の施設	8	2.3
10. 他県・他市町村並びに県の施設	25	7.1
11. 民間施設(カルチャーセンター)	15	4.2
12. 指導者・リーダーの自宅	7	2.0
13. 自宅	19	5.4
14. 特に施設を必要としない	1	0.3
15. その他	12	3.4
無回答	7	2.0
全体	353	-



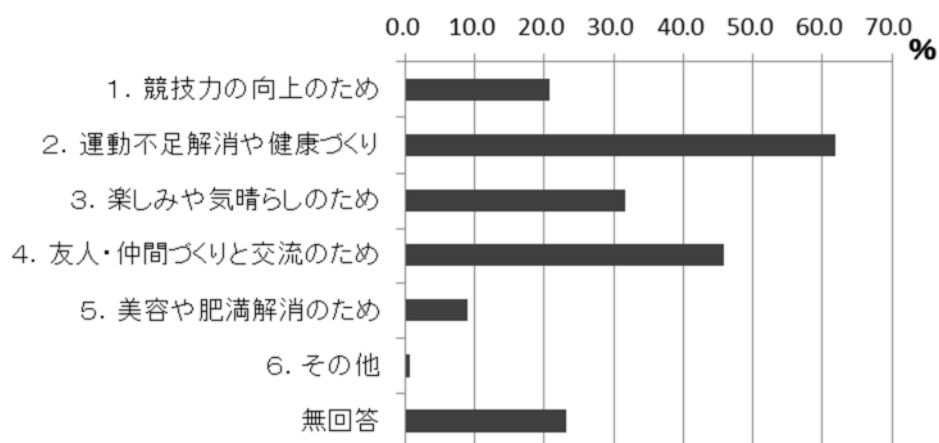
（５）スポーツをする理由

スポーツ施設を活動場所としている回答者にスポーツをする理由をたずねたところ、「運動不足解消や健康づくり」が61.9%で最も多かった。次いで「友人・仲間づくりと交流のため」45.8%、「楽しみや気晴らしのため」31.5%と続いている。

問10-2 問10で2. 6. 7と答えた方のみお答えください。

スポーツをする理由をあげてください（あてはまるものすべてに○を）

問10-2(MA)	回答数	%
1. 競技力の向上のため	35	20.8
2. 運動不足解消や健康づくり	104	61.9
3. 楽しみや気晴らしのため	53	31.5
4. 友人・仲間づくりと交流のため	77	45.8
5. 美容や肥満解消のため	15	8.9
6. その他	1	0.6
無回答	39	23.2
回答対象数	168	-



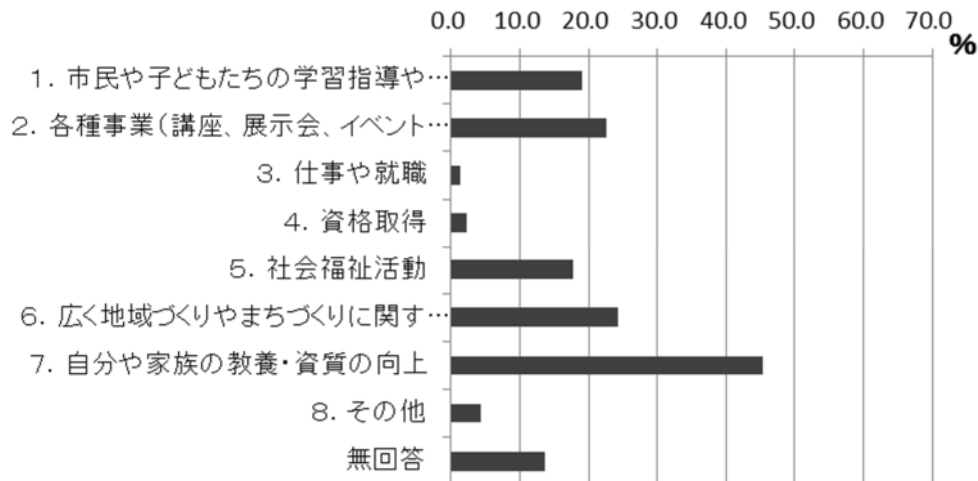
（６）生涯学習への意向

１）生涯学習の活用

生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思うかとたずねたところ、「自分や家族の教養・資質の向上」が45.3%で最も多かった。次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」24.4%、「各種事業（講座、展示会、イベントなど）の参加や企画協力」22.7%と続いている。

問１１ あなたは、生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○を）

問１１(MA)	回答数	%
1. 市民や子どもたちの学習指導や手伝い	67	19.0
2. 各種事業(講座、展示会、イベントなど)の参加や企画協力	80	22.7
3. 仕事や就職	5	1.4
4. 資格取得	8	2.3
5. 社会福祉活動	63	17.8
6. 広く地域づくりやまちづくりに関する活動	86	24.4
7. 自分や家族の教養・資質の向上	160	45.3
8. その他	15	4.2
無回答	48	13.6
全体	353	-

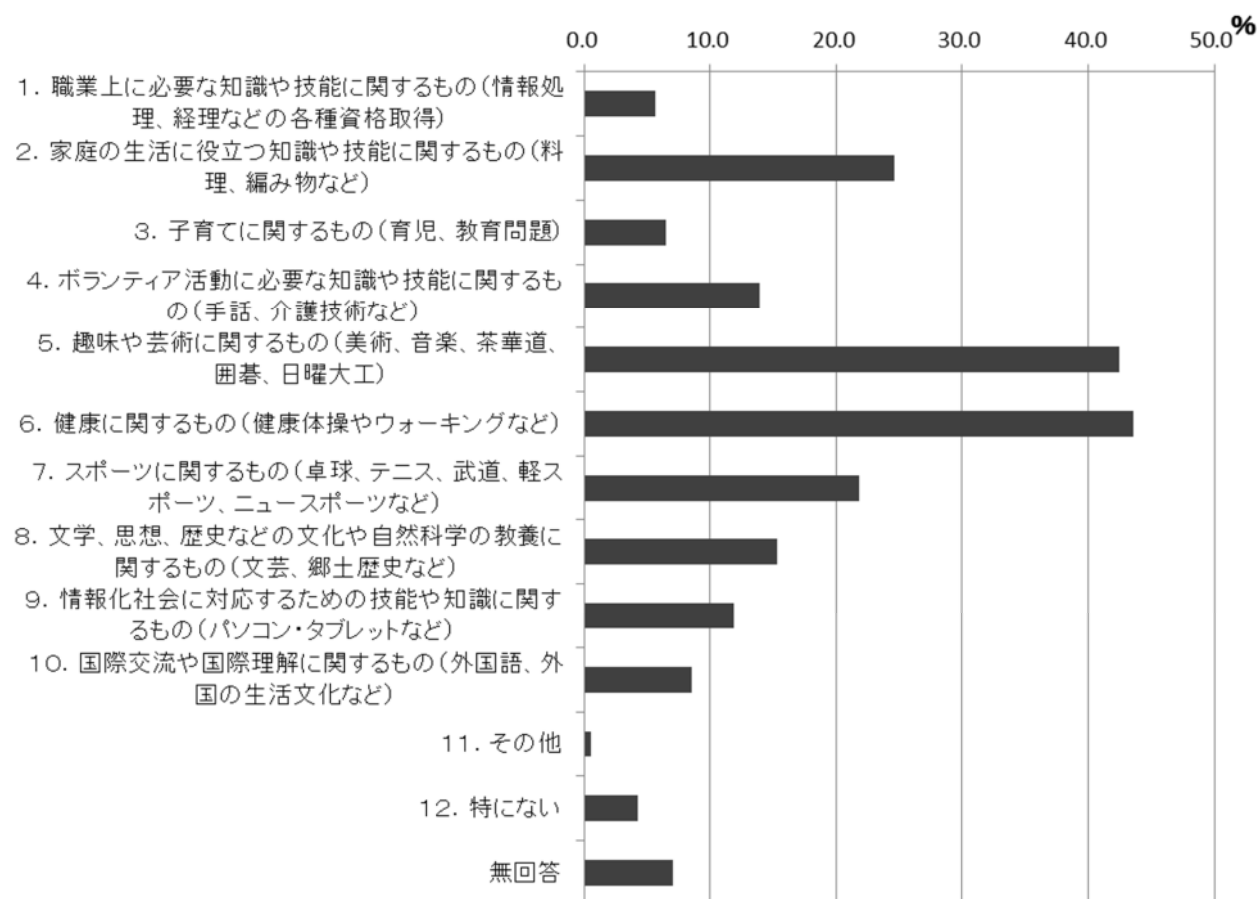


2) 今後学びたいこと

今後どのようなことを学びたいと思うかとたずねたところ、「健康に関するもの（健康体操やウォーキングなど）」が43.6%で最も多く、次いで「趣味や芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工）」42.5%が多かった。「家庭の生活に役立つ知識や技能に関するもの（料理、編み物など）」22.7%、「スポーツに関するもの（卓球、テニス、武道、軽スポーツ、ニュースポーツなど）」21.8%と続いている。健康に関する生涯学習のニーズが高いことがわかる。

問12 あなたは、今後どのようなことを学びたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○を）

問12(MA)	回答数	%
1. 職業上に必要な知識や技能に関するもの(情報処理、経理などの各種資格取得)	20	5.7
2. 家庭の生活に役立つ知識や技能に関するもの(料理、編み物など)	87	24.6
3. 子育てに関するもの(育児、教育問題)	23	6.5
4. ボランティア活動に必要な知識や技能に関するもの(手話、介護技術など)	49	13.9
5. 趣味や芸術に関するもの(美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工)	150	42.5
6. 健康に関するもの(健康体操やウォーキングなど)	154	43.6
7. スポーツに関するもの(卓球、テニス、武道、軽スポーツ、ニュースポーツなど)	77	21.8
8. 文学、思想、歴史などの文化や自然科学の教養に関するもの(文芸、郷土歴史など)	54	15.3
9. 情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの(パソコン・タブレットなど)	42	11.9
10. 国際交流や国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)	30	8.5
11. その他	2	0.6
12. 特にない	15	4.2
無回答	25	7.1
全体	353	-

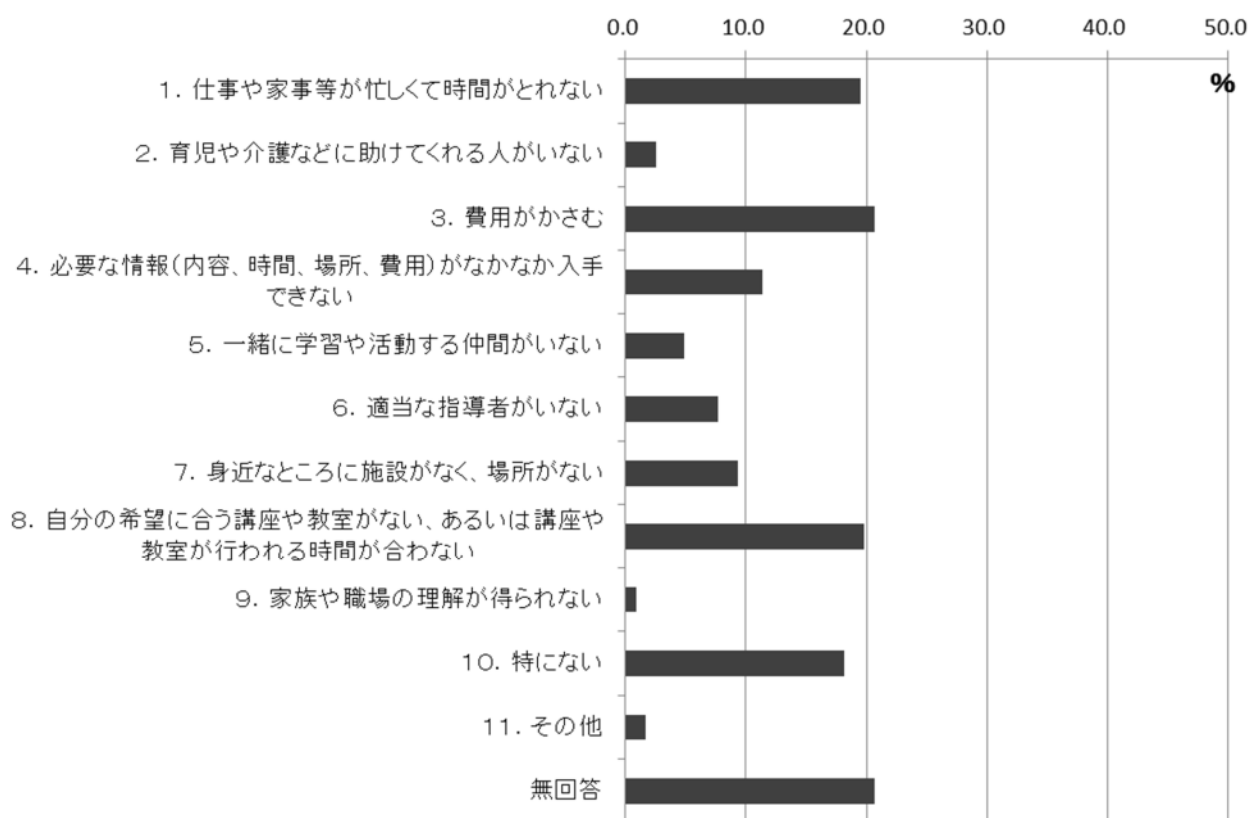


（７）生涯学習を行うときに妨げになること

生涯学習を行うときに、どのようなことが妨げになっているかをたずねたところ、「費用がかさむ」が 20.7%で最も多かった。次いで「自分の希望に合う講座や教室がない、あるいは講座や教室が行われる時間が合わない」19.8%、「仕事や家事等が忙しくて時間がとれない」19.5%と続いている。

問13 あなたが、生涯学習を行うときに、どのようなことが妨げになっていますか。（あてはまるものすべてに○を）

問13(MA)	回答数	%
1. 仕事や家事等が忙しくて時間がとれない	69	19.5
2. 育児や介護などに助けてくれる人がいない	9	2.5
3. 費用がかさむ	73	20.7
4. 必要な情報(内容、時間、場所、費用)がなかなか入手できない	40	11.3
5. 一緒に学習や活動する仲間がいない	17	4.8
6. 適当な指導者がいない	27	7.6
7. 身近なところに施設がなく、場所がない	33	9.3
8. 自分の希望に合う講座や教室がない、あるいは講座や教室が行われる時間が合わない	70	19.8
9. 家族や職場の理解が得られない	3	0.8
10. 特にない	64	18.1
11. その他	6	1.7
無回答	73	20.7
全体	353	-



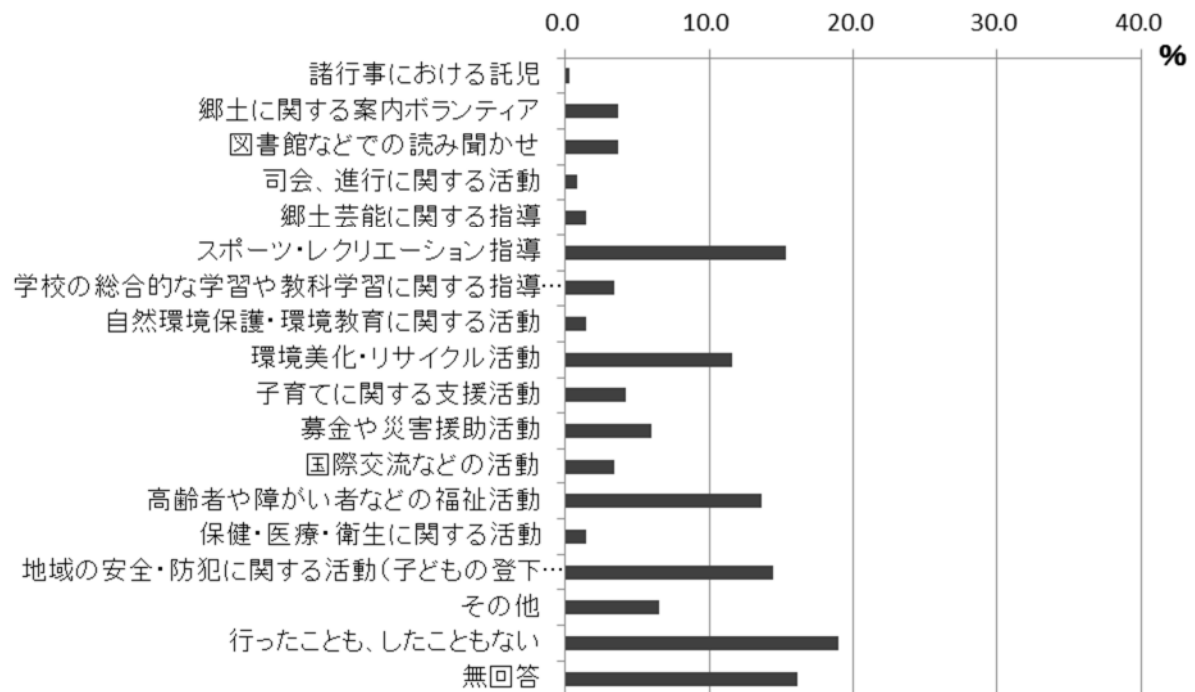
（８）ボランティア活動

１）ボランティア活動状況

どのようなボランティア活動を行っているかとたずねたところ、「行ったことも、したこともない」が 19.0%で最も多かった。次いで「スポーツ・レクリエーション指導」が 15.3%、「地域の安全・防犯に関する活動（子どもの登下校時の見守り活動）」14.4%、「高齢者や障がい者などの福祉活動」13.6%と続いている。

問15 あなたは、どのようなボランティア活動を行っていますか。（有償ボランティアも含む）（あてはまるものすべてに○を）

問15(MA)	回答数	%
諸行事における託児	1	0.3
郷土に関する案内ボランティア	13	3.7
図書館などでの読み聞かせ	13	3.7
司会、進行に関する活動	3	0.8
郷土芸能に関する指導	5	1.4
スポーツ・レクリエーション指導	54	15.3
学校の総合的な学習や教科学習に関する指導助言	12	3.4
自然環境保護・環境教育に関する活動	5	1.4
環境美化・リサイクル活動	41	11.6
子育てに関する支援活動	15	4.2
募金や災害援助活動	21	5.9
国際交流などの活動	12	3.4
高齢者や障がい者などの福祉活動	48	13.6
保健・医療・衛生に関する活動	5	1.4
地域の安全・防犯に関する活動（子どもの登下校時の見守り活動）	51	14.4
その他	23	6.5
行ったことも、したこともない	67	19.0
無回答	57	16.1
全体	353	—

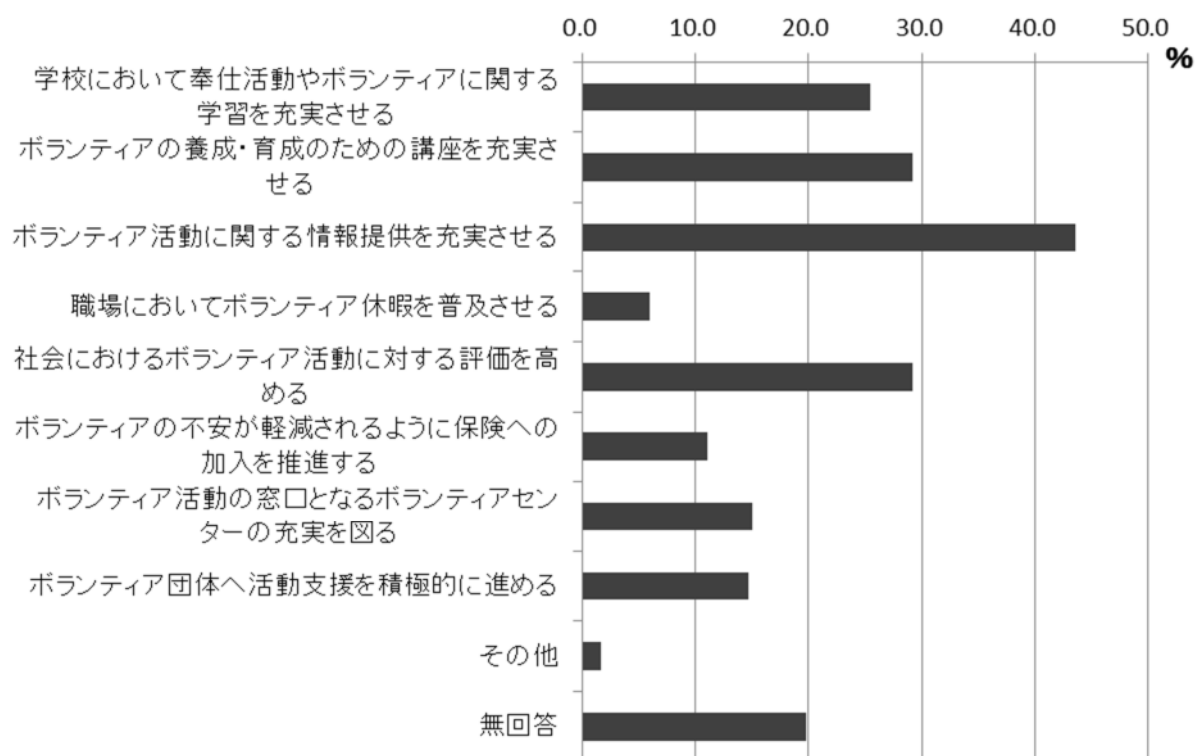


2) ボランティア活動を盛んにするための取組み

ボランティア活動をもっと盛んにするためには、どのような取り組みが必要だと思うかをたずねたところ、「ボランティア活動に関する情報提供を充実させる」が43.6%で最も多かった。次いで「ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる」「社会におけるボランティア活動に対する評価を高める」がともに29.2%「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」25.5%と続いている。

問16 ボランティア活動をもっと盛んにするためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問16(MA)	回答数	%
学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる	90	25.5
ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる	103	29.2
ボランティア活動に関する情報提供を充実させる	154	43.6
職場においてボランティア休暇を普及させる	21	5.9
社会におけるボランティア活動に対する評価を高める	103	29.2
ボランティアの不安が軽減されるように保険への加入を推進する	39	11.0
ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの充実を図る	53	15.0
ボランティア団体へ活動支援を積極的に進める	52	14.7
その他	6	1.7
無回答	70	19.8
全体	353	-



（９）市の生涯学習への取組み

香芝市が行っている生涯学習の取組みについて、今後の重要度をたずねた。「重要」の回答率％が高いのは。「体育施設の整備・充実（体育館・グラウンド）」「中核的な公共施設の整備・充実（モナミホール・図書館・博物館）」「講座、講演会などの種類や数の充実」「身近な学習施設の整備・充実（自治公民館など）」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「芸術・文化活動の機会の充実」であった。

問１８ あなたは、香芝市が行っている生涯学習の取組みは、今後どのくらい重要であると考えますか。

	1 重要	2 どちらかとい えは重要	3 どちらとも いえない	4 あまり重要 ではない	5 重要でない	0 無回答
① 講座、講演会などの種類や数の充実	31.2	34.8	15.0	1.4	1.1	16.4
② 身近なところでの学習機会の充実	26.6	39.7	12.5	2.0	0.6	18.7
③ 身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	29.7	36.5	12.7	3.1	0.8	17.0
④ 中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	35.7	34.3	11.0	1.7	0.3	17.0
⑤ 体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	36.0	24.6	12.2	0.8	0.6	25.8
⑥ 芸術・文化活動の機会の充実	27.8	29.5	14.7	1.7	0.6	25.8
⑦ スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	28.9	29.2	14.2	1.1	0.6	26.1
⑧ 家庭教育の向上につながる学習機会の提供	20.7	29.5	18.1	2.0	0.8	28.9
⑨ 指導者・リーダーの養成	22.1	32.6	16.7	0.8	1.1	26.6
⑩ 各種団体・グループ活動支援や交流	19.3	29.2	20.1	2.0	0.8	28.6
⑪ 地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	17.0	32.6	18.1	2.0	0.3	30.0
⑫ ボランティア育成や活動の支援	21.0	34.8	15.6	1.7	0.6	26.3
⑬ 学校における生涯学習活動に対する指導と推進	19.5	26.1	22.7	2.5	1.1	28.0
⑭ 大学との連携と公開講座の推進	14.4	25.5	26.9	4.5	1.4	27.2
⑮ 市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	18.1	30.9	19.8	2.5	0.8	27.8
⑯ 学んだことを発表する機会	12.7	25.8	30.6	3.1	1.1	26.6
⑰ 生涯学習に対する情報提供	20.1	37.7	14.2	2.0	0.6	25.5
⑱ 生涯学習に関する相談体制の充実	13.0	29.2	25.2	4.0	0.6	28.0
⑲ 職業の能力を身につける学習機会の提供	14.2	26.9	25.5	4.2	0.8	28.3
⑳ NPO 等の活動支援	11.0	20.4	33.4	4.5	2.3	28.3

*20%以上の値に網掛け

(10) 生涯学習団体アンケート調査の結果のまとめ

○生涯学習の情報源として行政からの情報提供の役割は大きい

生涯学習の情報源は、「県や市の広報誌」が7割以上で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」が5割以上と多く、これは一般市民アンケートと比べて高くなっている。一般市民アンケートで2割あった「インターネット・携帯電話」は1割強だった。

一般市民アンケートと同様に、行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、団体参加者ということから「知人、友人、同僚、家族」からの情報が大きくなっていると考えられる

○生涯学習は、自分や家族の教養・資質の向上に役立っている

生涯学習で学んだことをどのように役立てたかは、「自分や家族の教養・資質の向上」が最も多かった。次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」、「各種事業（講座、展示会、イベントなど）の参加や企画協力」と続いている。

今後学びたいことでは、「健康に関するもの（健康体操やウォーキングなど）」が最も多く、次いで「趣味や芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工）」が多かった。健康に関する生涯学習のニーズが高いことがわかる。

○ボランティア活動に関する情報提供を普及させることが必要

ボランティア活動を盛んにするために必要な取組みとしては、「ボランティア活動に関する情報提供を充実させる」が最も多かった。次いで「ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる」「社会におけるボランティア活動に対する評価を高める」「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」と続いている

○今後の重要度が高い取り組みは、「体育施設や中核的な公共施設の整備・充実」「講座、講演会などの充実」「スポーツ・レクリエーション活動や芸術・文化活動の機会の充実」

市が行っている生涯学習の取り組みについて、今後の重要度が高い取り組みとして、「体育施設の整備・充実」「中核的な公共施設の整備・充実」「講座、講演会などの種類や数の充実」「身近な学習施設の整備・充実」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「芸術・文化活動の機会の充実」があげられている。

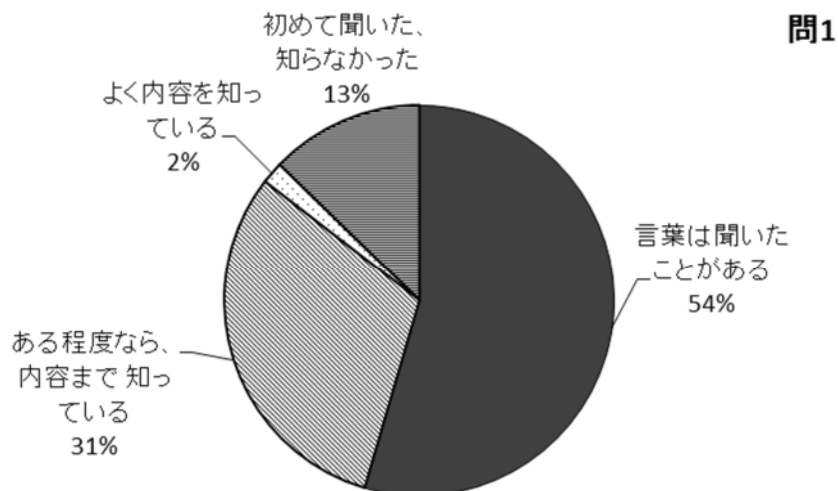
4 事業所アンケート調査の結果

(1) 生涯学習の認知度

「生涯学習」という言葉の認知度をたずねたところ、「言葉は聞いたことがある」が55%で最も多く、「ある程度なら、内容まで知っている」、「よく内容を知っている」を合わせて33%であり、前回平成11年調査と同様の認知度だった。

問1 これまで、「※生涯学習」という言葉を耳にしたり、内容を聞いたことがありますか。(いずれか1つに○を)

	回答数	%	H11 調査%
言葉は聞いたことがある	30	55	55
ある程度なら、内容まで知っている	17	31	26
よく内容を知っている	1	2	8
初めて聞いた、知らなかった	7	13	9
無回答	0	0	1
計	55	100	99



（２）アンケート対象事業所の特性

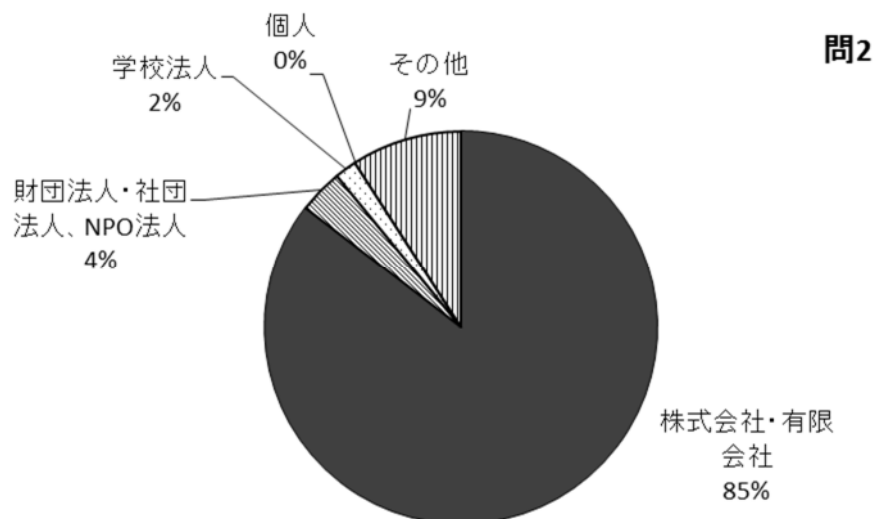
アンケートに回答いただいた事業所の事業形態、従業員数、従業員の雇用形態は次の通りだった。

１）事業形態

事業形態は、「株式会社・有限会社」が 85％で多数を占めていた。

問２ 貴社の事業形態をお答えください。（いずれか１つに○を）

問2	回答数	%
株式会社・有限会社	47	85
財団法人・社団法人、NPO 法人	2	4
学校法人	1	2
個人	0	0
その他	5	9
計	55	100

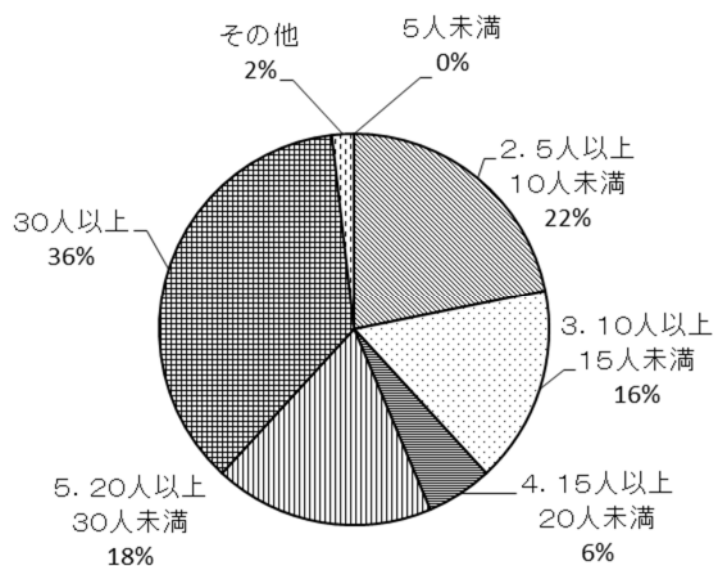


２）従業員数

従業員数は、30 人未満の事業所が 6 割を占めていた。

問３ 貴社の従業員数をお答えください。（いずれか１つに○を）

問3	回答数	%
5人未満	0	0
5人以上10人未満	12	22
10人以上15人未満	9	16
15人以上20人未満	3	5
20人以上30人未満	10	18
30人以上	20	36
その他	1	2
計	55	100

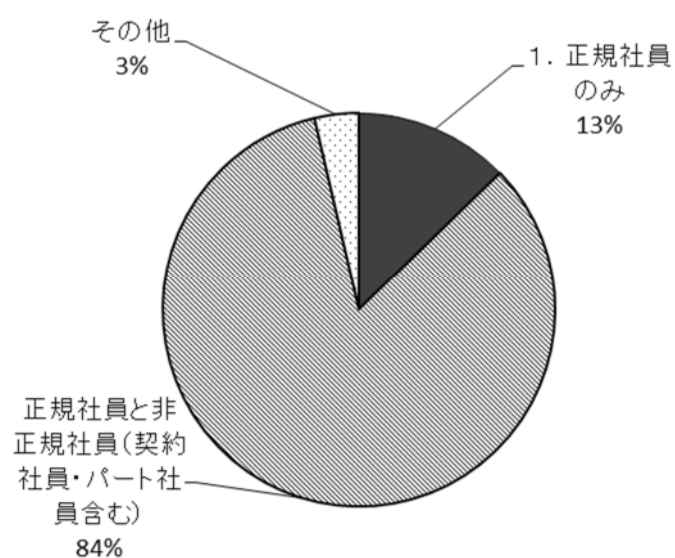


3) 雇用形態

従業員の雇用形態は、「正規社員と非正規社員」が8割以上を占めていた。

問4 貴社の従業員の雇用形態をお答えください。(いずれか1つに○を)

問4	回答数	%
正規社員のみ	7	13
正規社員と非正規社員(契約社員・パート社員含む)	46	84
その他	2	4
計	55	100



（３）休日・休暇制度

事業所の週休制度、有給休暇制度、連続休暇、生涯学習の支援につながる休暇制度・勤務形態の状況は次の通りだった。

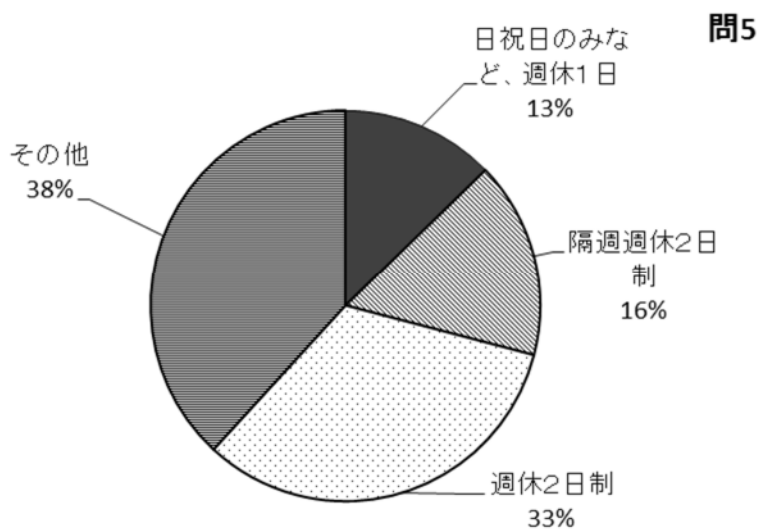
１）週休制度

週休制度は、「週休２日制」は３３％で、前回平成１１年調査と同様の状況だった。

問５ 貴社における週休制度をお答えください。（いずれかに１つに○を）

問５	回答数	%	H11 調査%
日祝日のみなど、週休１日	7	13	25
隔週週休２日制	9	16	33
週休２日制	18	33	33
その他	21	38	8
無回答	0	0	1
計	55	100	100

「その他」内訳	回答数	%
変形労働時間制	6	11
自社カレンダー	5	9
４週８休	2	4
その他	8	15



２）有給休暇制度

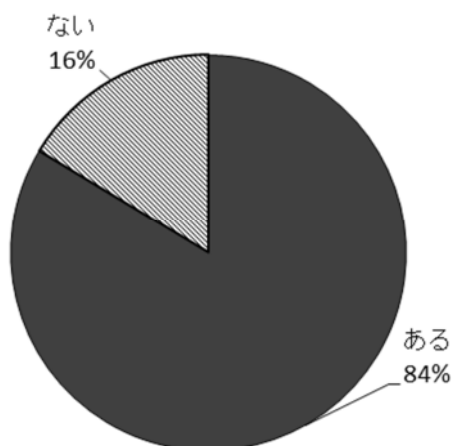
①年間有給休暇制度の有無

有給休暇制度は、「ある」は８４％で、前回平成１１年調査より増加した。

問6 ①貴社には、有給休暇制度はありますか。

問6①	回答数	%	H11 調査%
ある	46	84	70
ない	9	16	30
無回答	0	0	1
計	55	100	101

問6①



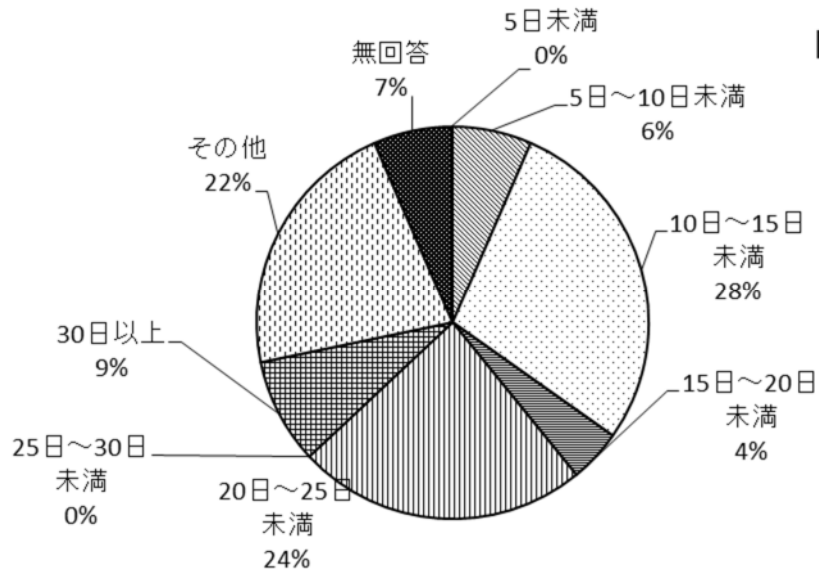
②年間有給休暇日数

年間有給休暇日数は、「10 日～15 日未満」28%、「20 日～25 日未満」24%が多かった。

問6 ②年間有給休暇日数（あるとお答え頂いた事業所）

問6②	回答数	%
5 日未満	0	0
5 日～10 日未満	3	7
10 日～15 日未満	13	28
15 日～20 日未満	2	4
20 日～25 日未満	11	24
25 日～30 日未満	0	0
30 日以上	4	9
その他	10	22
無回答	3	7
制度有り事業所計	46	100

問6②

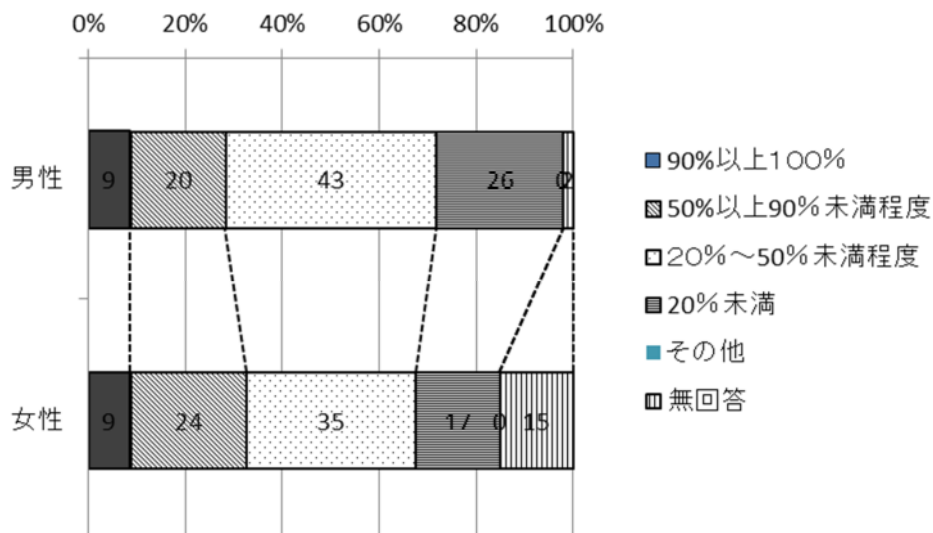


③有給休暇消化率

有給休暇の消化率は、「90%以上 100%」は男女とも 9%、「50%以上 90%未満程度」はやや女性が高く 24%、男性は 20%だった。50%以上消化しているのは男性で 29%、女性で 33%にとどまっている。

③有給休暇は、どの程度消化されていますか。また、男性・女性別で取得可能日数に対する消化率の全従業員の平均値でお答えください。（正解な数値でなくても結構です）（いずれか1つに○を）

問6③	男性:回答数	%	女性:回答数	%
90%以上100%	4	9	4	9
50%以上 90%未満程度	9	20	11	24
20%～50%未満程度	20	43	16	35
20%未満	12	26	8	17
その他	0	0	0	0
無回答	1	2	7	15
制度有り事業所計	46	100	46	100

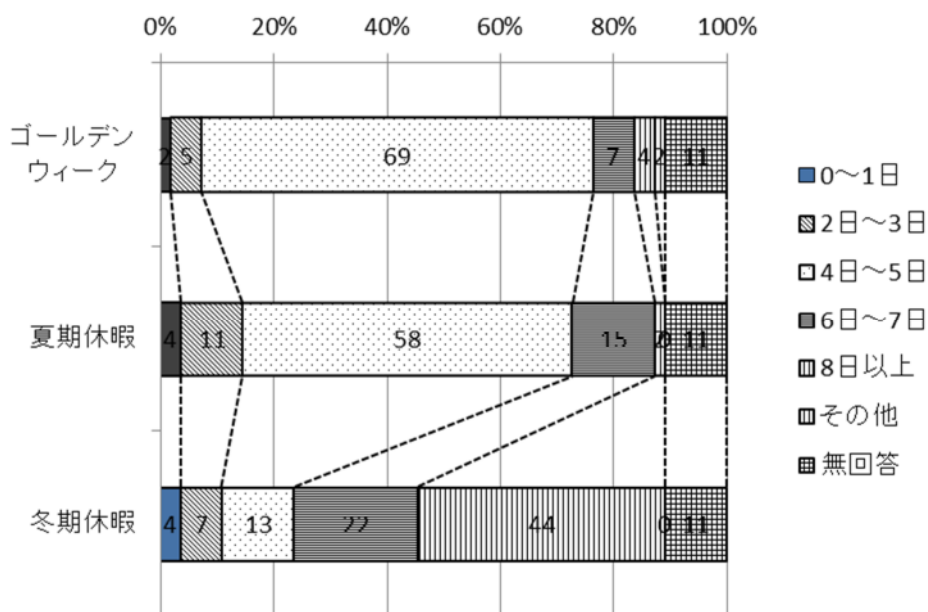


3) 連続休暇

前年（平成25年度）の連続休暇の日数をたずねたところ、ゴールデンウィークは「4日～5日」が69%、夏期休暇は「4日～5日」が58%、冬期休暇は比較的長く「8日以上」が44%と多かった。前回平成11年調査と比べると、日数が長い回答の割合がやや多くなっている

問7 貴社の連続休暇について、昨年（平成25年度）の実績（従業員平均）は何日だったかお答えください。

	ゴールデンウィーク			夏期休暇			冬期休暇		
	回答数	%	H11調%	回答数	%	H11調%	回答数	%	H11調%
0～1日	1	2	9	2	4	8	2	4	8
2日～3日	3	5	16	6	11	16	4	7	6
4日～5日	38	69	51	32	58	43	7	13	18
6日～7日	4	7	12	8	15	12	12	22	35
8日以上	2	4	1	1	2	14	24	44	27
その他	1	2	0	0	0	0	0	0	0
無回答	6	11	12	6	11	7	6	11	7
計	55	100	101	55	100	100	55	100	101



4) 生涯学習の支援につながる休暇制度・勤務形態

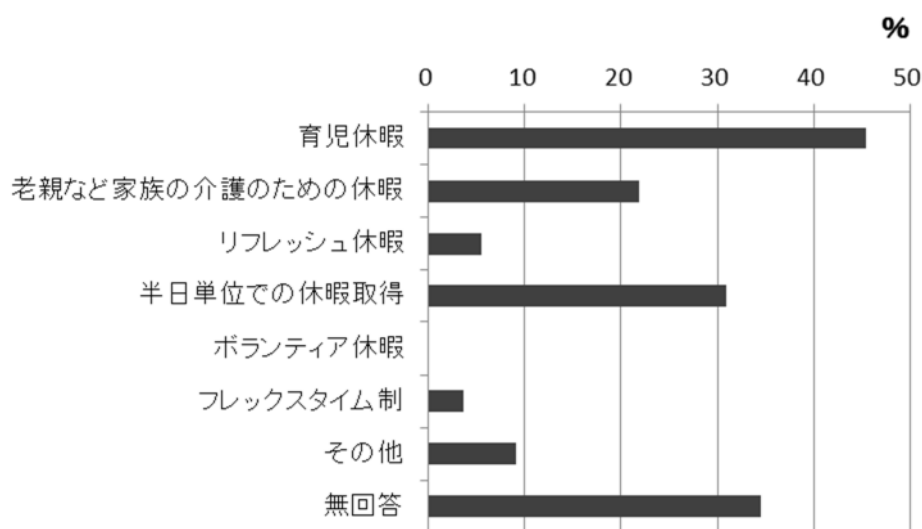
生涯学習の支援にもつながる休暇制度・勤務形態の導入状況について、「育児休暇」制度を導入している事業所は全体の45%、次いで「半日単位での休暇取得」が31%で、どちら

も前回平成 11 年調査より増えている。「老親など家族の介護のための休暇」は 22%で前回調査とほぼ同じだった。

「リフレッシュ休暇」「ボランティア休暇」「フレックスタイム制」を認めている事業所は少なく、前回平成 11 年調査と状況は変わらない。

問 8 下記の休暇制度や勤務形態のうち、貴社で採用しているものはあります。(あてはまるものすべてに○を)

問8(MA)	回答数	%	H11 調査%
育児休暇	25	45	33
老親など家族の介護のための休暇	12	22	21
リフレッシュ休暇	3	5	11
半日単位での休暇取得	17	31	22
ボランティア休暇	0	0	3
フレックスタイム制	2	4	7
その他	5	9	0
無回答	19	35	48
全体	55	-	-

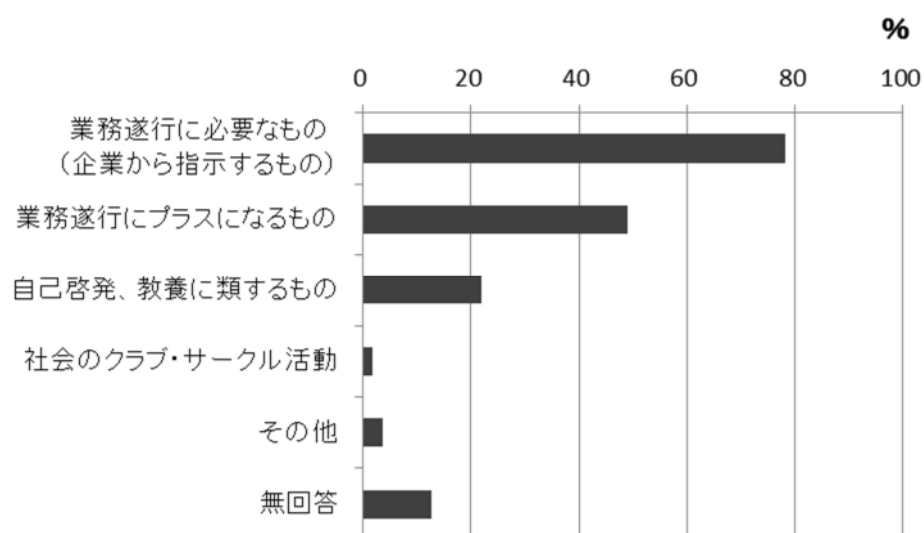


（４）従業員の資格習得・講座などの参加に対する支援

従業員の資格習得・講座などの参加に対し、金銭的な負担や助成を行なっているかをたずねたところ、「業務遂行に必要なもの」78%、「業務遂行にプラスになるもの」49%で、業務関連であれば支援を行う事業所は多い。この傾向は前回平成11年調査と変わらない。

問9 以下のような、従業員の資格習得・講座などの参加に対し、貴社では金銭的な負担や助成を行なっているものはありますか。（あてはまるものすべてに○を）

問9(MA)	回答数	%	H11 調査%
業務遂行に必要なもの(企業から指示するもの)	43	78	70
業務遂行にプラスになるもの	27	49	51
自己啓発、教養に類するもの	12	22	20
社会のクラブ・サークル活動	1	2	14
その他	2	4	0
無回答	7	13	20
全体	55	-	-



（５）従業員の社会貢献活動への参加について

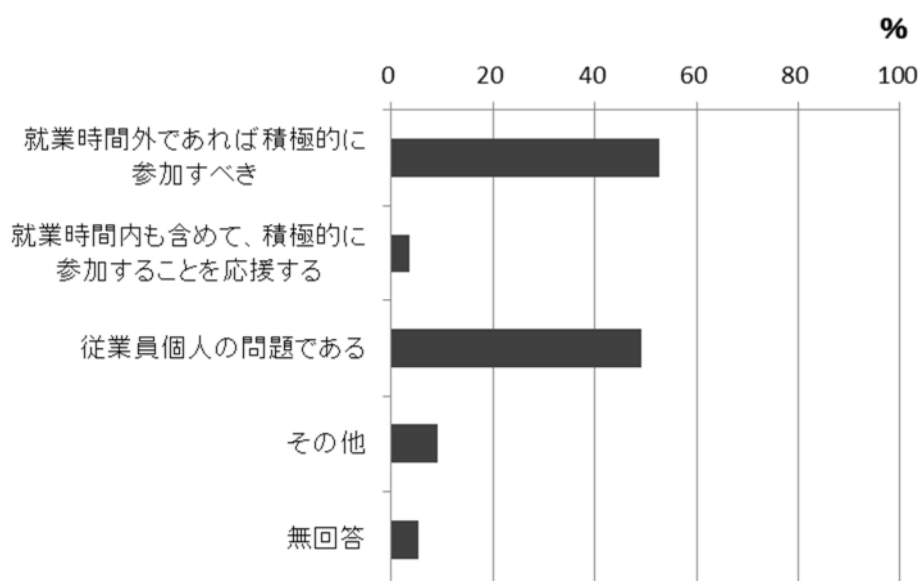
１）参加に対する企業の姿勢

従業員が社会貢献活動を行う場合に、事業所がどのような姿勢かについてたずねたところ、「就業時間外であれば積極的に参加すべき」が事業所全体の 53%で最も多く、前回調査では最多だった「従業員個人の問題である」は 49%だった。

前回平成 11 年調査より、従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢が、より積極的になっている傾向が見られる。

問 10 ①従業員の社会貢献活動（ボランティアなど）への参加について、どのようにお考えでしょうか。（あてはまるものすべてに○を）

問10①(MA)	回答数	%	H11 調査%
就業時間外であれば積極的に参加すべき	29	53	39
就業時間内も含めて、積極的に参加することを応援する	2	4	9
従業員個人の問題である	27	49	56
その他	5	9	1
無回答	3	5	2
全体	55	-	-



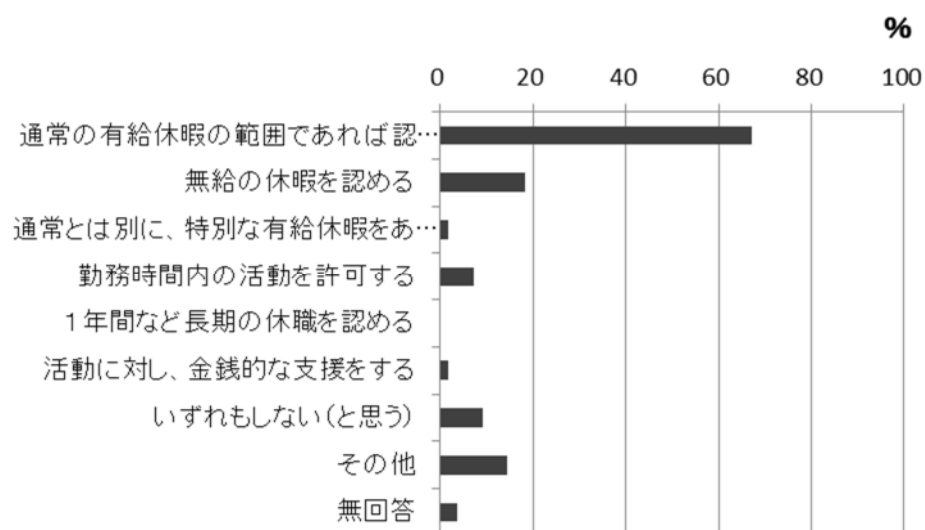
２）参加申し出があった場合の対応

従業員から社会貢献活動に参加したいと申し出があった場合に、どのような対応をとるかをたずねたところ、「通常の有給休暇の範囲であれば認める」が事業所全体の 67%で最も多かった。

「勤務時間内の活動を許可する」や「活動に対し、金銭的な支援をする」「通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる」といった積極的な支援の姿勢で対応する事業所は少数だが、「いずれもしない」の回答は前回調査より少なくなっている。

②従業員から、社会貢献活動に参加したい申し出があった場合、貴社ではどのような対応をとられるでしょうか。（あてはまるものすべてに○を）

問10②(MA)	回答数	%	H11 調査%
通常の有給休暇の範囲であれば認める	37	67	60
無給の休暇を認める	10	18	17
通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる	1	2	1
勤務時間内の活動を許可する	4	7	4
1年間など長期の休職を認める	0	0	0
活動に対し、金銭的な支援をする	1	2	2
いずれもしない(と思う)	5	9	16
その他	8	15	0
無回答	2	4	4
全体	55	-	-



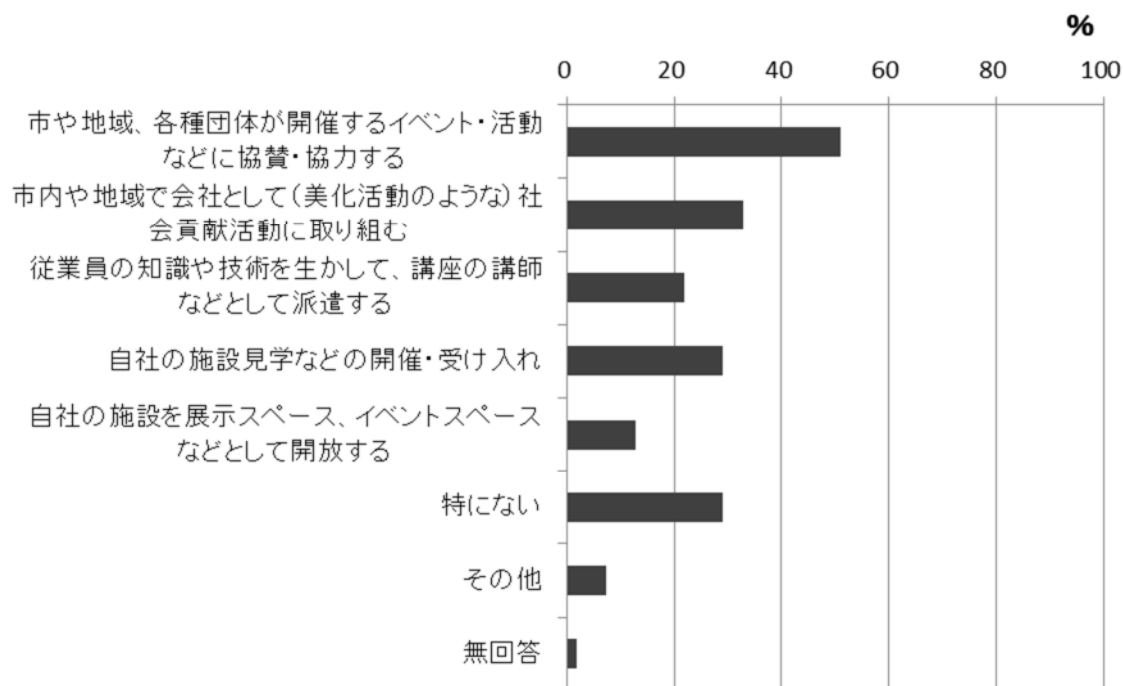
（６）会社としての社会貢献活動の取り組みについて

会社としての社会貢献活動の取り組みについての意向をたずねたところ、「市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する」が事業所全体の 51%で多数だった。「市内や地域で会社として（美化活動のような）社会貢献活動に取り組む」が 33%、「自社の施設見学などの開催・受け入れ」が 29%で、会社として社会貢献活動に取り組む意向が高いことがわかる。

「特にない」や無回答の事業所は 3 割ほどで、7 割の事業所で何らかの社会貢献活動への取組み意向を持っていることがわかった。

問 1 1 貴社では、会社としての社会貢献活動の取り組みについて、どのような意向をお持ちでしょうか。（あてはまるものすべてに○を）

問11(MA)	回答数	%
市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する	28	51
市内や地域で会社として(美化活動のような)社会貢献活動に取り組む	18	33
従業員の知識や技術を生かして、講座の講師などとして派遣する	12	22
自社の施設見学などの開催・受け入れ	16	29
自社の施設を展示スペース、イベントスペースなどとして開放する	7	13
特にない	16	29
その他	4	7
無回答	1	2
全体	55	-



(7) 事業所アンケート調査結果のまとめ

○生涯学習の認知度には大きな変化はみられない

生涯学習の認知度は、「言葉は聞いたことがある」が 55%で最も多く、「ある程度なら、内容まで知っている」、「よく内容を知っている」を合わせて 33%であり、前回平成 11 年調査と同様に、言葉としては知っているが、その内容まで理解しているところはまだそれほど多くはないといえる。

○有給休暇制度、育児休暇制度の導入は進んでいる。連続休暇日数はやや増加している。

週休制度は、「週休 2 日制」は 33%で、前回平成 11 年調査から導入の進展は見られなかった。

有給休暇制度は、「ある」が 84%で、前回平成 11 年調査より増加した。年間有給休暇日数は、「10 日～15 日未満」28%、「20 日～25 日未満」24%だった。有給休暇の消化率では 50%以上消化は男性で 29%、女性で 33%にとどまっている。

前年(平成 25 年度)の連続休暇の日数は、ゴールデンウィークは「4 日～5 日」が 69%、夏期休暇は「4 日～5 日」が 58%、冬期休暇は比較的長く「8 日以上」が 44%と多かった。前回平成 11 年調査と比べると、日数が長い回答の割合がやや多くなっている。

生涯学習の支援にもつながる休暇制度・勤務形態の導入状況について、「育児休暇」制度を導入している事業所は全体の 45%、次いで「半日単位での休暇取得」が 31%で、どちらも前回平成 11 年調査より増えている。「リフレッシュ休暇」「ボランティア休暇」「フレックスタイム制」を認めている事業所は少なく、前回平成 11 年調査と状況は変わらない。

○業務関連であれば従業員の資格習得・講座などの参加に対する支援を行う事業所は多い

従業員の資格習得・講座などの参加に対する、金銭的な負担や助成の実施について、「業務遂行に必要なもの」78%、「業務遂行にプラスになるもの」49%で、業務関連であれば支援を行う事業所は多い。この傾向は前回平成 11 年調査と変わらない。

○従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢は、より積極的になっている傾向が見られる

従業員の社会貢献活動への参加に対する事業所の姿勢は、「就業時間外であれば積極的に参加すべき」が事業所全体の 53%で最も多く、前回調査では最多だった「従業員個人の問題である」は 49%だった。前回平成 11 年調査より、従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢が、より積極的になっている傾向が見られる。

従業員から社会貢献活動に参加したいと申し出があった場合の対応について、「通常の有給休暇の範囲であれば認める」が事業所全体の 67%で最も多かった。「勤務時間内の活

動を許可する」や「活動に対し、金銭的な支援をする」「通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる」といった積極的な支援の姿勢で対応する事業所は少数だが、「いずれもしない」の回答は前回調査より少なくなっている。

○会社としての社会貢献活動への取り組み意向は高い

会社としての社会貢献活動の取り組みについて、7割の事業所で何らかの社会貢献活動への取組み意向を持っていることがわかった。「市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する」が事業所全体の51%、「市内や地域で会社として（美化活動のような）社会貢献活動に取り組む」が33%、「自社の施設見学などの開催・受け入れ」が29%と、会社として社会貢献活動に取り組む意向は高い。